こども都庁モニター

令和５年度第４回アンケート結果

調査実施の概要

1　アンケートテーマ

①　子供一人ひとりの興味関心に応じた、芸術文化体験・イベント

②　子供の日常生活での事故

③　ヤングケアラー

④　東京の道路整備

⑤　中高生の放課後や休日の居場所

⑥　中高生による政策提案

2　アンケート目的

都政への関心が高い小学生・中学生・高校生や未就学児の保護者から、
意見やアイディアを継続的に集め、子供の意見を都政に取り入れていくことを
目的とする。

3　アンケート期間

令和６年１月 30 日（火曜日）から２月６日（火曜日）まで

4　アンケート方法

インターネットを通じて、モニターがアンケート専用ホームページから
回答を入力する。

5　モニター数

1,199 人

6　回答者数

1,086 人

7　回答率

90.6％

※小学生向けのアンケートでは学年毎に学習していない漢字へのふりがなや言葉の言い換えなど、わかりやすい言葉に変えてアンケートを実施しております。

※自由記述欄は原文のまま掲載しております。

		モニター人数	回答		
			人数	構成比	率
全体		1,199	1,086	－	90.6
性別	男性	590	527	48.5	89.3
	女性	591	544	50.1	92.0
	その他／回答しない	18	15	1.4	83.3
学年別	０歳～２歳保護者	199	192	17.7	96.5
	３歳～５歳保護者	200	189	17.4	94.5
	小学校低学年	200	181	16.7	90.5
	小学校高学年	200	181	16.7	90.5
	中学生	200	180	16.6	90.0
	高校生	200	163	15.0	81.5
居住地域別	東京都区部	799	735	67.7	92.0
	東京都市町村部	400	351	32.3	87.8

※ 集計結果は百分率（%）で示し、小数点以下第２位を四捨五入して算出した。そのため、合計が100.0%にならないものがある。

※ n（number of cases）は、比率算出の基数であり、100%が何人の回答者に相当するかを示す。

※ 複数回答方法・・・(MA) ＝いくつでも選択、(3MA) ＝３つまで選択、(2MA) ＝２つまで選択

※ 「高校生」には、高校生年齢相当（15～18 歳）の子供を含む。

子供一人ひとりの興味関心に応じた、
芸術文化体験・イベントについて

（対象：保護者・小学生・中高生）

調 査 項 目

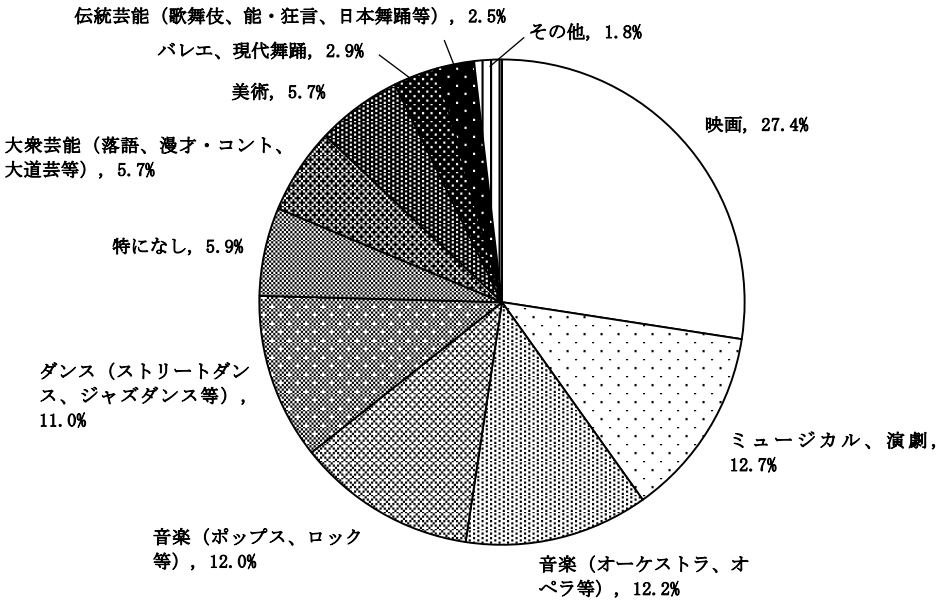
問１	鑑賞や体験したいこと、興味のあること
問２	実演・創作などの体験有無・希望
問３	実演・創作などの体験活動を行ったことがない理由
問４	過去に体験したことがある体験活動
問５	体験活動をした理由

東京都では、芸術文化に強い関心を持つ子供たちが、やってみたいことに挑戦し、理解や経験を深め、未来の東京の芸術文化を支えてもらいたい、と考えています。子供たち一人ひとりの興味や関心に応じたプログラムを提供するため、みなさんの意見を聴かせてください。

鑑賞や体験したいこと、興味のあること

問１　芸術文化のなかで、今最も鑑賞や体験をしたい・興味のあるものは何ですか？

（n=1,086）



【調査結果の概要】

「映画」（27.4%）が最も高く、以下、「ミュージカル、演劇」（12.7%）、「音楽（オーケストラ、オペラ等）」（12.2%）などと続いている。

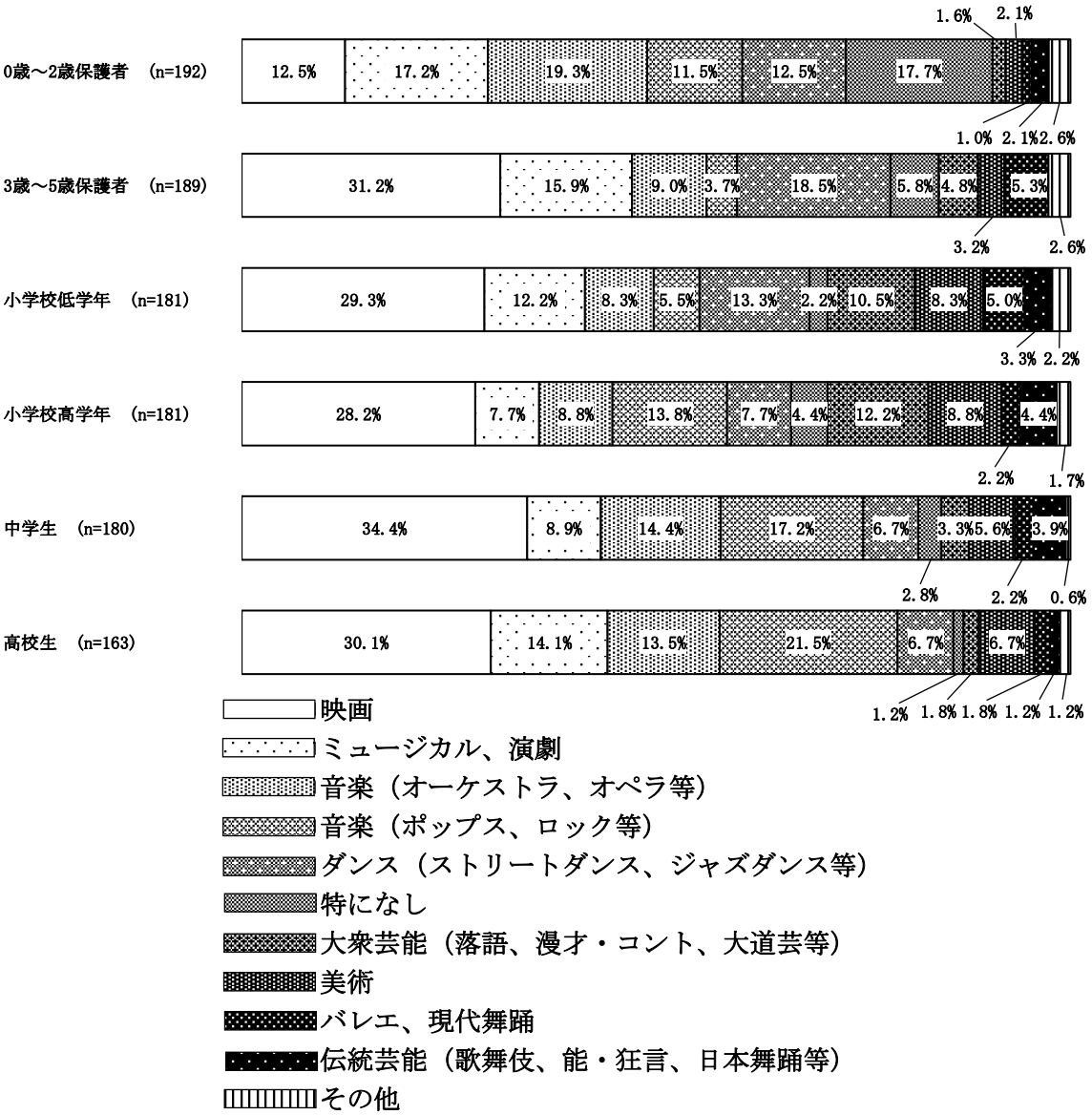
◎その他のご意見（例）

・お母さんといっしょのような歌う機会（男性　０歳～２歳保護者　中野区）

・茶道（女性　小学校低学年　足立区）

・童謡（男性　０歳～２歳保護者　西東京市）

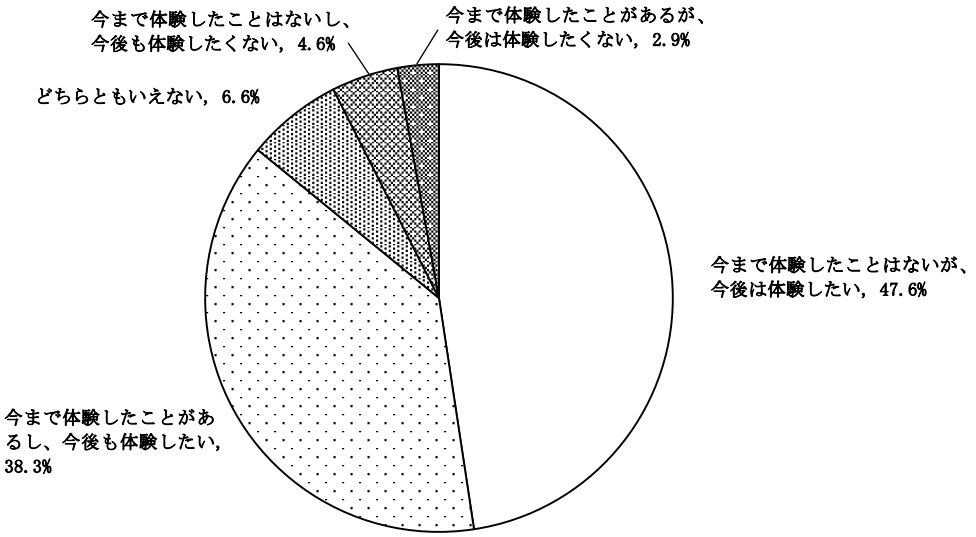
■学年別



実演・創作などの体験有無・希望

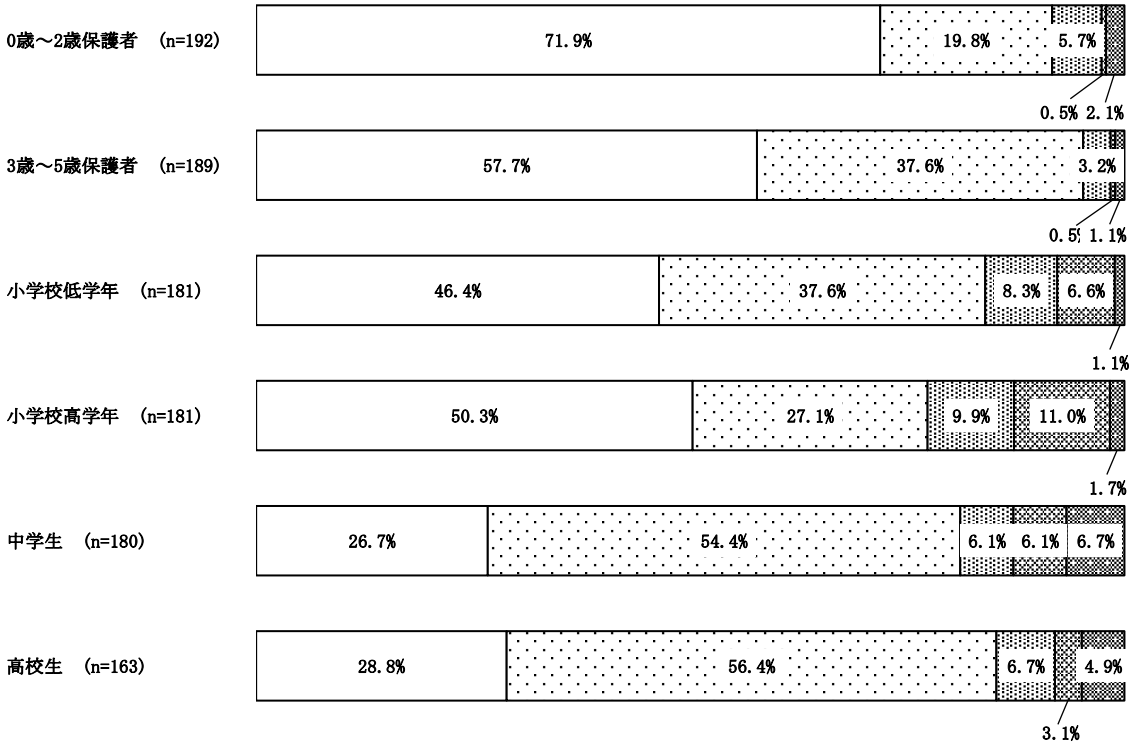
問２　芸術文化のなかで、実演（演技、ダンス、演奏など）・創作（小道具の制作など）などを体験したことはありますか？または体験してみたいですか？
※学校の授業や行事（イベント）は除きます

（n=1,086）



【調査結果の概要】
「今まで体験したことはないが、今後は体験したい」（47.6%）が最も高く、以下、「今まで体験したことがあるし、今後も体験したい」（38.3%）、「どちらともいえない」（6.6%）などと続いている。

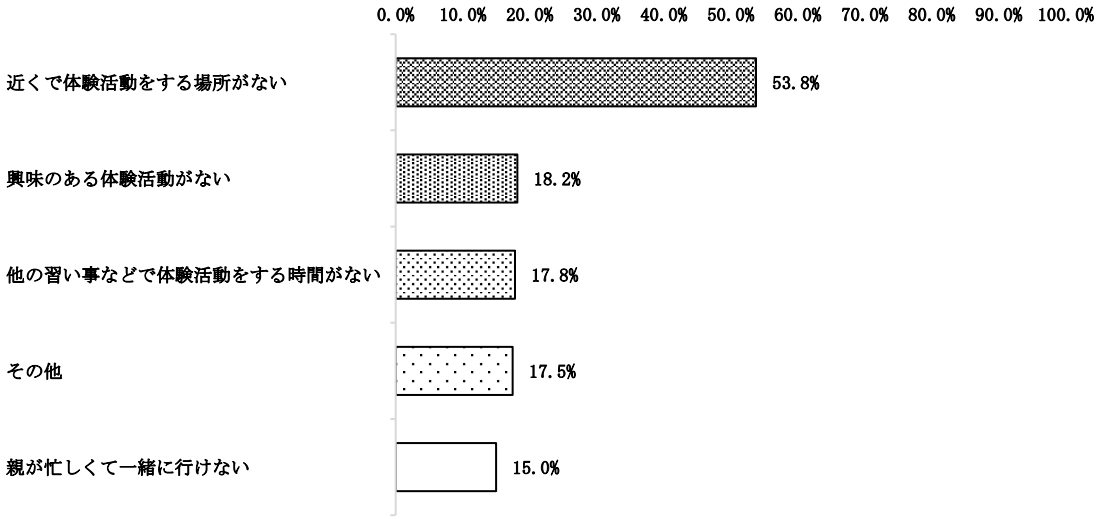
■学年別


0歳～2歳保護者　(n=192)
71.9%
19.8%
5.7%
0.5%
2.1%
3歳～5歳保護者　(n=189)
57.7%
37.6%
3.2%
0.5
1.1%
小学校低学年　(n=181)
46.4%
37.6%
8.3%
6.6%
1.1%
小学校高学年　(n=181)
50.3%
27.1%
9.9%
11.0%
1.7%
中学生　(n=180)
26.7%
54.4%
6.1%
6.1%
6.7%
高校生　(n=163)
28.8%
56.4%
6.7%
4.9%
3.1%
今まで体験したことはないが、今後は体験したい
今まで体験したことがあるし、今後も体験したい
どちらともいえない
今まで体験したことはないし、今後も体験したくない
今まで体験したことがあるが、今後は体験したくない

実演・創作などの体験活動を行ったことがない理由

問３　（問２で「今まで体験したことはないが、今後は体験したい」、「今まで体験したことはないし、今後も体験したくない」と回答した場合）芸術文化の体験活動を行ったことがない・行わなかった理由はなんですか。
当てはまるものをいくつでも選んでください。

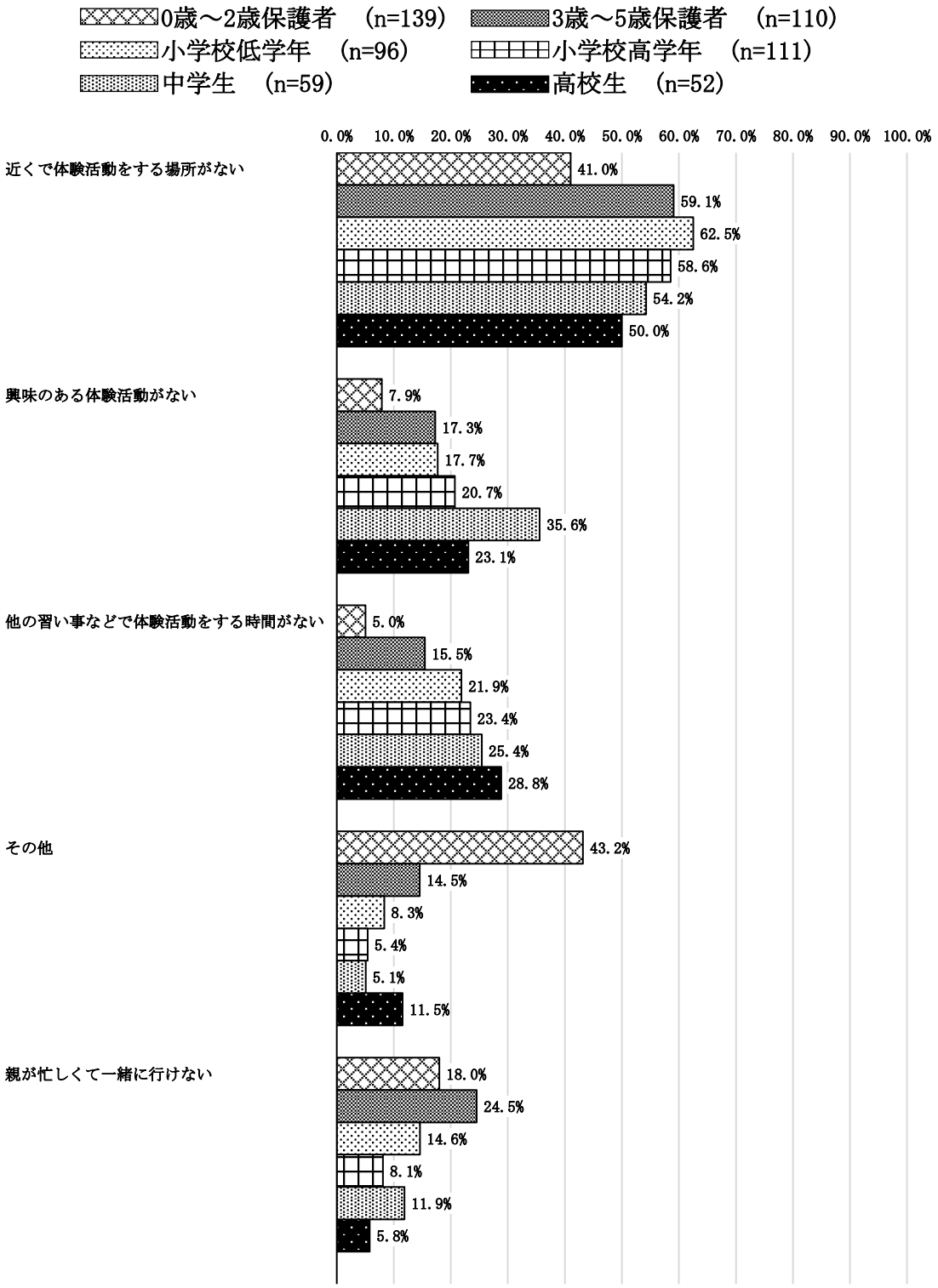
MA（n=567）



【調査結果の概要】
「近くで体験活動をする場所がない」（53.8%）が最も高く、以下、「興味のある体験活動がない」（18.2%）、「他の習い事などで体験活動をする時間がない」（17.8%）などと続いている。

◎その他のご意見（例）
・子供がまだ２歳前なので参加できる体験活動がみつからない
　（男性　０歳～２歳保護者　福生市）
・芸術文化の体験活動ができる、できるところがあることを知らなかった
　（女性　小学校低学年　江東区）
・体験の探し方がわからない、参加しづらい感じがする
　（その他／回答しない　高校生　世田谷区）

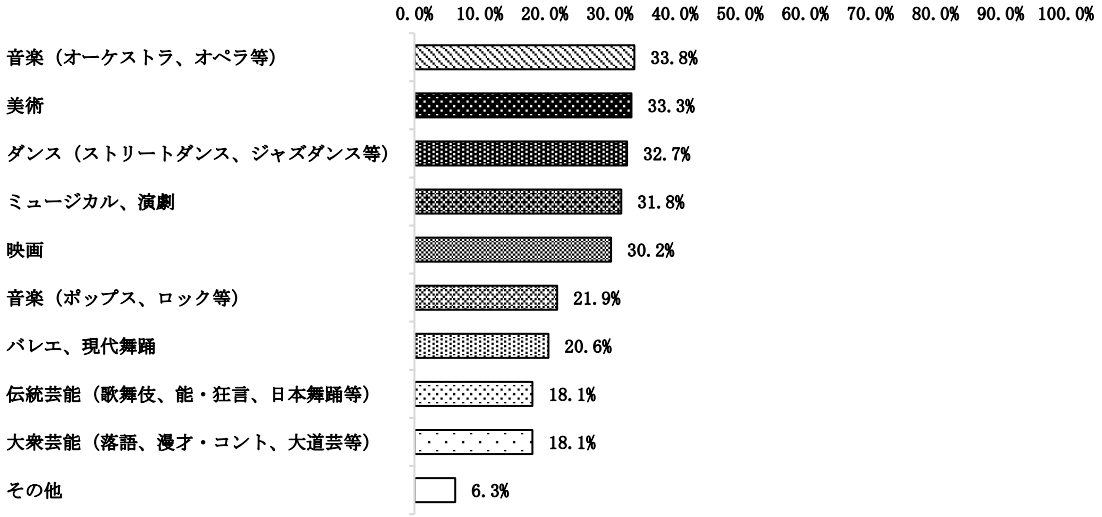
■学年別


0歳～2歳保護者　(n=139)
3歳～5歳保護者　(n=110)
小学校低学年　(n=96)
小学校高学年　(n=111)
中学生　(n=59)
高校生　(n=52)
0.0%
10.0%
20.0%
30.0%
40.0%
50.0%
60.0%
70.0%
80.0%
90.0%
100.0%
近くで体験活動をする場所がない
41.0%
59.1%
62.5%
58.6%
54.2%
50.0%
興味のある体験活動がない
7.9%
17.3%
17.7%
20.7%
35.6%
23.1%
他の習い事などで体験活動をする時間がない
5.0%
15.5%
21.9%
23.4%
25.4%
28.8%
その他
43.2%
14.5%
8.3%
5.4%
5.1%
11.5%
親が忙しくて一緒に行けない
18.0%
24.5%
14.6%
8.1%
11.9%
5.8%

過去に体験したことがある体験活動

問４　今まで体験したことがあるのはどの分野での体験活動ですか。
　　当てはまるものをいくつでも選んでください。

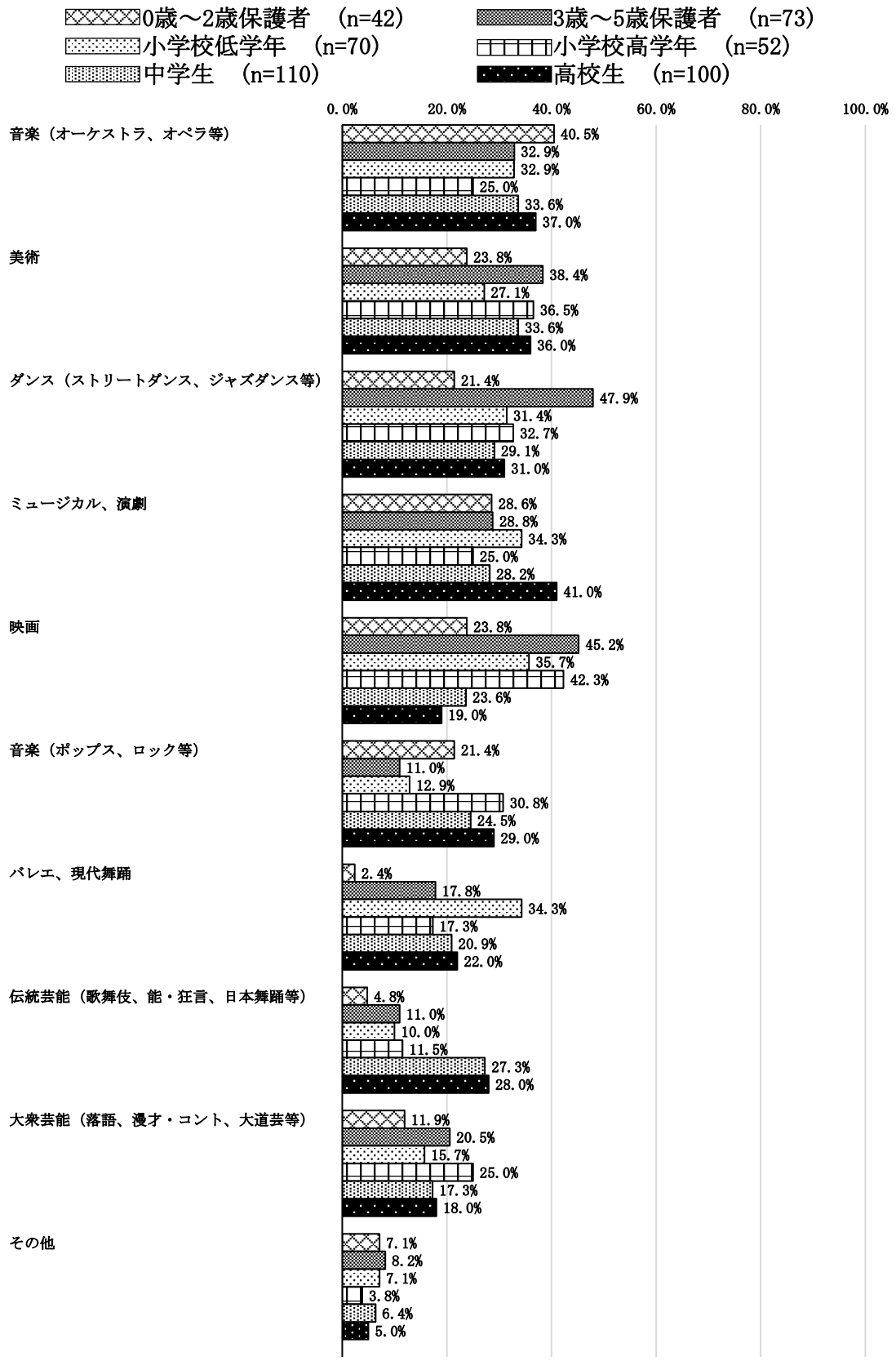
MA（n=447）



【調査結果の概要】
「音楽（オーケストラ、オペラ等）」（33.8%）が最も高く、以下、「美術」（33.3%）、「ダンス（ストリートダンス、ジャズダンス等）」（32.7%）などと続いている。

◎その他のご意見（例）
・書道（女性　０歳～２歳保護者　港区）
・紙芝居、コーラス（女性　小学校低学年　小平市）
・伝統芸能に入るかはわからないが茶道（男性　高校生　足立区）

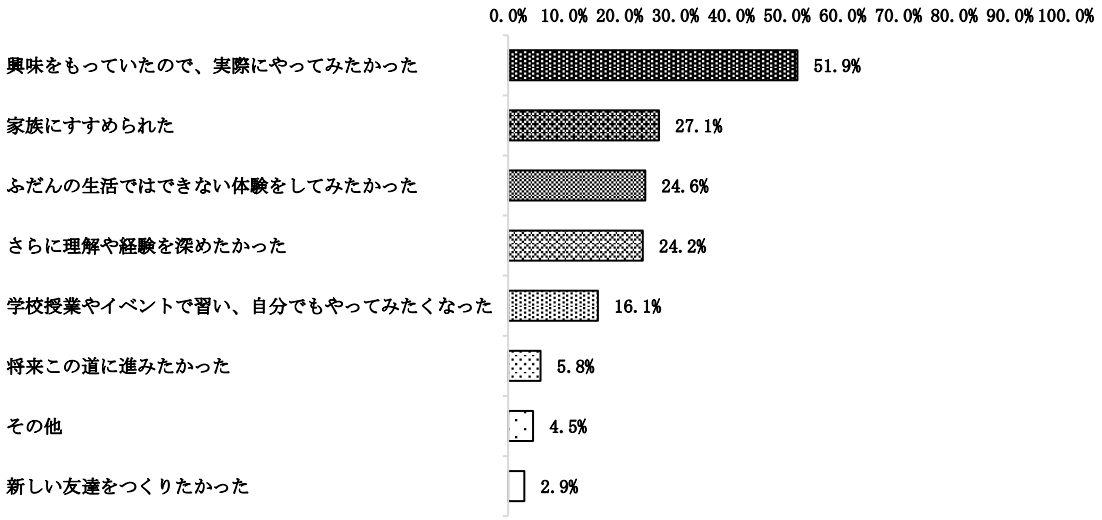
■学年別


0歳～2歳保護者　(n=42)
3歳～5歳保護者　(n=73)
小学校低学年　(n=70)
小学校高学年　(n=52)
中学生　(n=110)
高校生　(n=100)
0.0%
20.0%
40.0%
60.0%
80.0%
100.0%
音楽（オーケストラ、オペラ等）
40.5%
32.9%
32.9%
25.0%
33.6%
37.0%
美術
23.8%
38.4%
27.1%
36.5%
33.6%
36.0%
ダンス（ストリートダンス、ジャズダンス等）
21.4%
47.9%
31.4%
32.7%
29.1%
31.0%
ミュージカル、演劇
28.6%
28.8%
34.3%
25.0%
28.2%
41.0%
映画
23.8%
45.2%
35.7%
42.3%
23.6%
19.0%
音楽（ポップス、ロック等）
21.4%
11.0%
12.9%
30.8%
24.5%
29.0%
バレエ、現代舞踊
2.4%
17.8%
34.3%
17.3%
20.9%
22.0%
伝統芸能（歌舞伎、能・狂言、日本舞踊等）
4.8%
11.0%
10.0%
11.5%
27.3%
28.0%
大衆芸能（落語、漫才・コント、大道芸等）
11.9%
20.5%
15.7%
25.0%
17.3%
18.0%
その他
7.1%
8.2%
7.1%
3.8%
6.4%
5.0%

体験活動をした理由

問５　（問４を回答した場合）芸術文化の体験活動をした理由は何ですか。
当てはまるものをいくつでも選んでください。

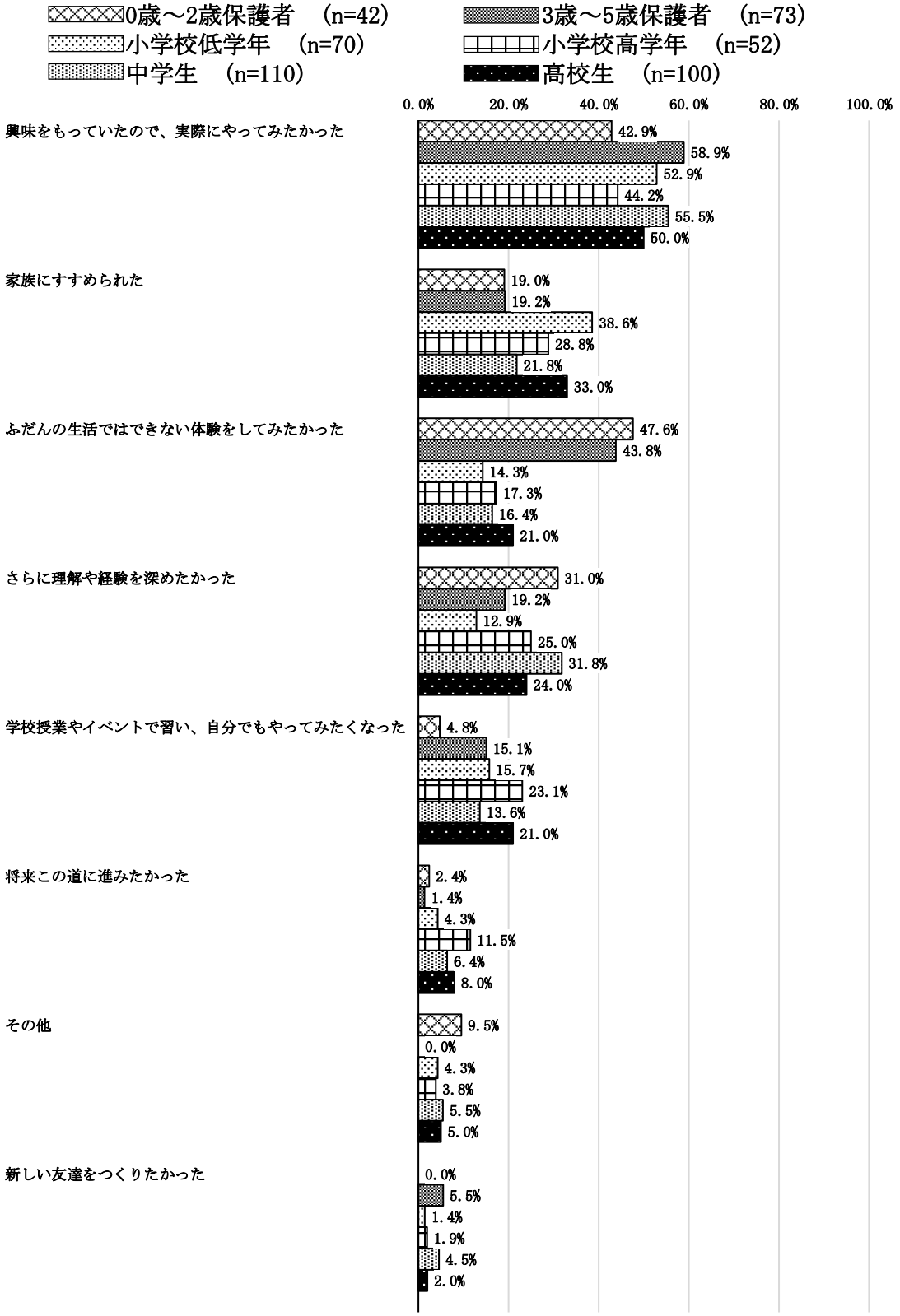
MA（n=447）



【調査結果の概要】
「興味をもっていたので、実際にやってみたかった」(51.9%) が最も高く、以下、「家族にすすめられた」(27.1%)、「ふだんの生活ではできない体験をしてみたかった」(24.6%) などと続いている。

◎その他のご意見（例）
・未就園児も参加できるミュージカルが市で無料開催されたので参加しました。
（男性　０歳～２歳保護者　羽村市）
・小さい頃から音楽や演奏に興味があったから（男性　小学校低学年　杉並区）
・伝統芸能（能）は今年度，学校の選択科目で取っている。（女性　高校生　江戸川区）

■学年別


0歳～2歳保護者　(n=42)
3歳～5歳保護者　(n=73)
小学校低学年　(n=70)
小学校高学年　(n=52)
中学生　(n=110)
高校生　(n=100)
0.0%
20.0%
40.0%
60.0%
80.0%
100.0%
興味をもっていたので、実際にやってみたかった
42.9%
58.9%
52.9%
44.2%
55.5%
50.0%
家族にすすめられた
19.0%
19.2%
38.6%
28.8%
21.8%
33.0%
ふだんの生活ではできない体験をしてみたかった
47.6%
43.8%
14.3%
17.3%
16.4%
21.0%
さらに理解や経験を深めたかった
31.0%
19.2%
12.9%
25.0%
31.8%
24.0%
学校授業やイベントで習い、自分でもやってみたくなった
4.8%
15.1%
15.7%
23.1%
13.6%
21.0%
将来この道に進みたかった
2.4%
1.4%
4.3%
11.5%
6.4%
8.0%
その他
9.5%
0.0%
4.3%
3.8%
5.5%
5.0%
新しい友達をつくりたかった
0.0%
5.5%
1.4%
1.9%
4.5%
2.0%

子供の日常生活での事故について
（対象：小学生、中高生、保護者）

調 査 項 目

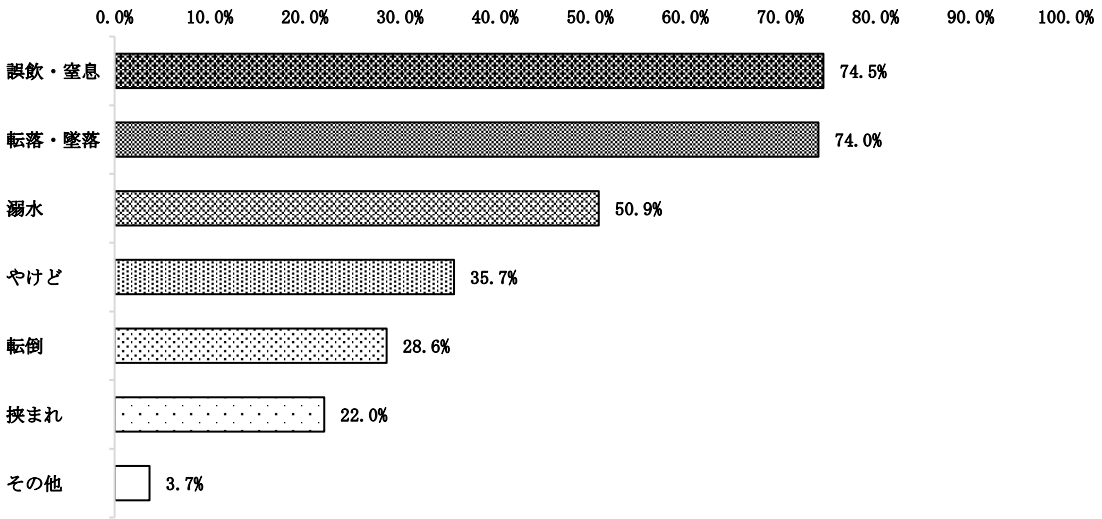
問１	（保護者）	子供の日常生活での事故で気を付けなくてはならないこと
問２	（保護者）	子供の日常生活での事故防止に対する対策
問３	（子供）	誰（何）からの呼びかけが効果的か
問４		日常生活での事故で知りたいこと
問５		東京消防庁のホームページ等で知っている、見たことがあるもの

東京消防庁では、救急搬送データを分析し、日常生活において生じる事故(急病、交通事故を除く)の予防策などを事故に遭いやすい高齢者や子供を中心に呼びかけています。子供を守る環境作りが重要視されている中、子供の日常生活での事故を防ぐための呼びかけをより良いものとするため、みなさんの意見を聴かせてください。

子供の日常生活での事故で気を付けなくてはならないこと（保護者）

問１　子供の日常生活での事故について、気を付けなくてはならないと思っているものを３つ以内で選んでください。

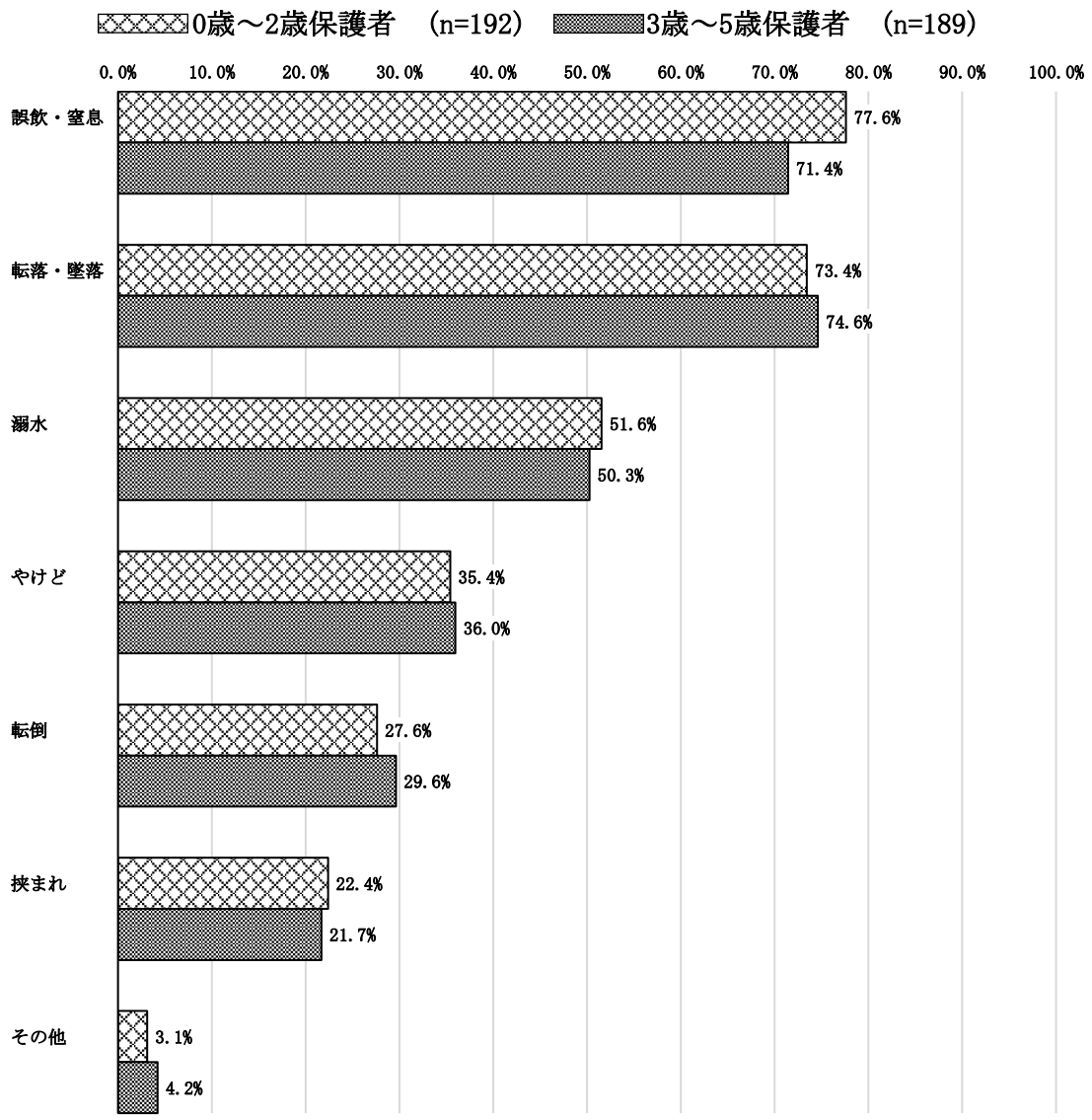
3MA（n=381）



【調査結果の概要】
「誤飲・窒息」（74.5%）が最も高く、以下、「転落・墜落」（74.0%）、「溺水」（50.9%）などと続いている。

◎その他のご意見（例）
・閉じ込め（男性　０歳～２歳保護者　立川市）
・喉つき（男性　３歳～５歳保護者　中野区）

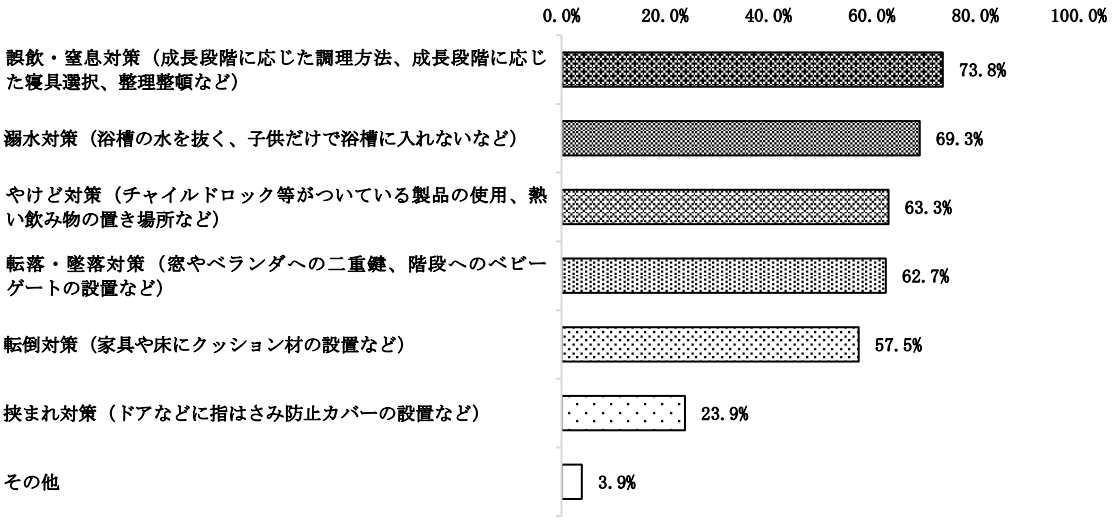
■学年別



子供の日常生活での事故防止に対する対策（保護者）

問２　子供の日常生活での事故防止について、自身が行っている対策や心がけているものをすべて選んでください。

MA（n=381）



【調査結果の概要】

「誤飲・窒息対策（成長段階に応じた調理方法、成長段階に応じた寝具選択、整理整頓など）」（73.8%）が最も高く、以下、「溺水対策（浴槽の水を抜く、子供だけで浴槽に入れないなど）」（69.3%）、「やけど対策（チャイルドロック等がついている製品の使用、熱い飲み物の置き場所など）」（63.3%）などと続いている。

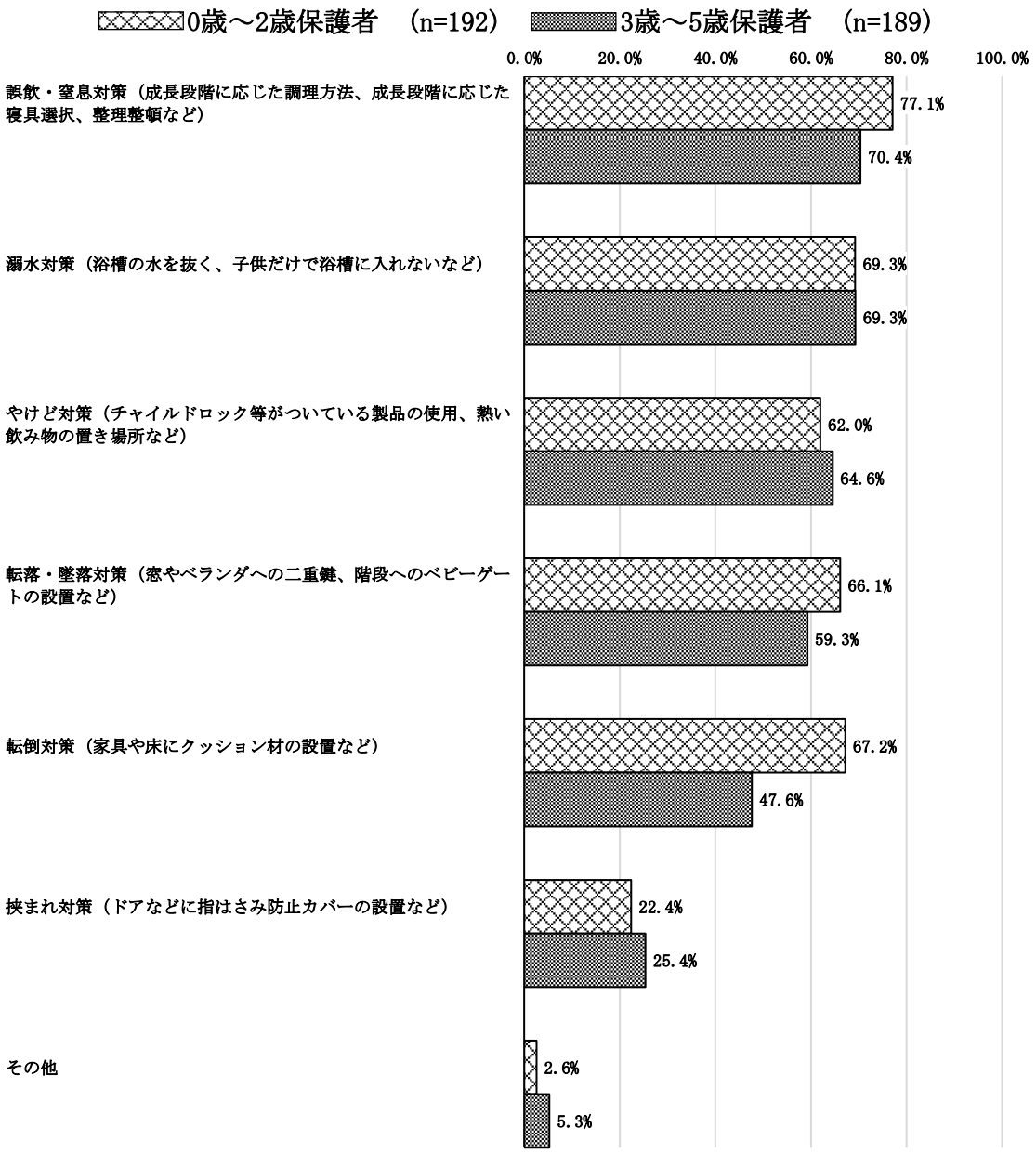
◎その他のご意見（例）

・台を置かない。椅子は床に寝かせる（男性　０歳～２歳保護者　立川市）

・歯ブラシをくわえたまま移動したり、ジャンプしたりしないよう、声掛け。
（男性　３歳～５歳保護者　中野区）

・目を離す時はサークルに入れたり、寝ている時も見守りカメラをつける
（女性　３歳～５歳保護者　江東区）

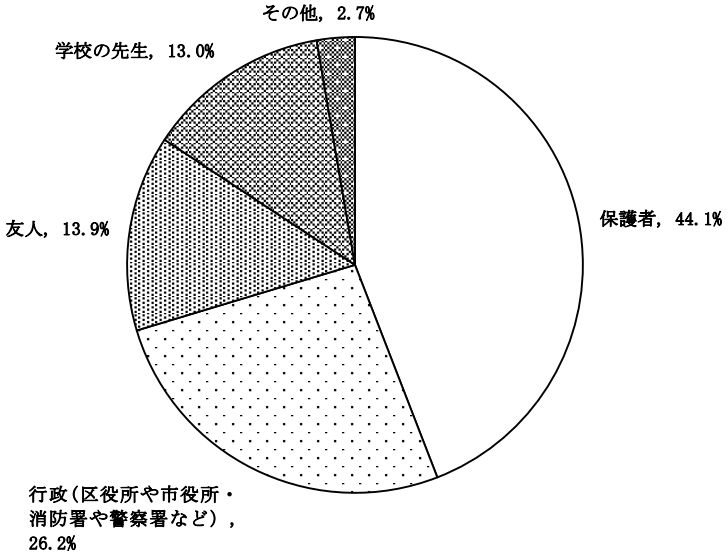
■学年別


0歳～2歳保護者　(n=192)
3歳～5歳保護者　(n=189)
0.0%
20.0%
40.0%
60.0%
80.0%
100.0%
誤飲・窒息対策（成長段階に応じた調理方法、成長段階に応じた寝具選択、整理整頓など）
77.1%
70.4%
溺水対策（浴槽の水を抜く、子供だけで浴槽に入れないなど）
69.3%
69.3%
やけど対策（チャイルドロック等がついている製品の使用、熱い飲み物の置き場所など）
62.0%
64.6%
転落・墜落対策（窓やベランダへの二重鍵、階段へのベビーゲートの設置など）
66.1%
59.3%
転倒対策（家具や床にクッション材の設置など）
67.2%
47.6%
挟まれ対策（ドアなどに指はさみ防止カバーの設置など）
22.4%
25.4%
その他
2.6%
5.3%

誰（何）からの呼びかけが効果的か（子供）

問３　日常生活での事故防止について、誰（何）から呼びかけられたら「注意しよう」と思いますか。一番効果的だと思うものを一つ選んでください。

(n=705)



【調査結果の概要】

「保護者」（44.1%）が最も高く、以下、「行政（区役所や市役所・消防署や警察署など）」（26.2%）、「友人」（13.9%）などと続いている。

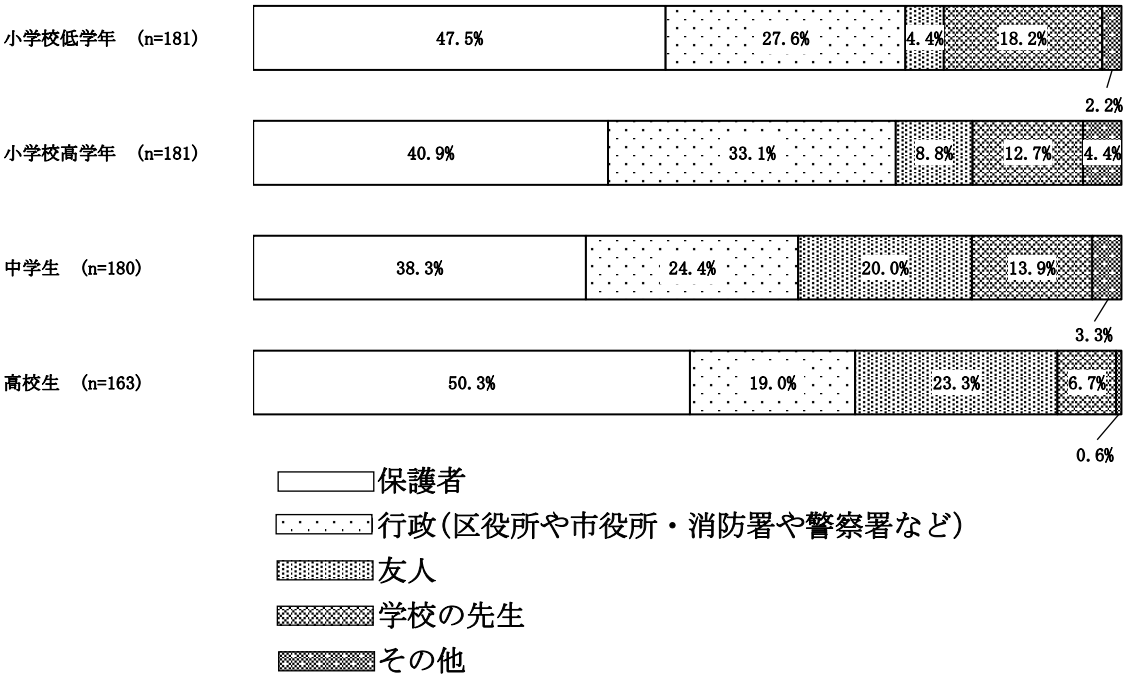
◎その他のご意見（例）

・好きなインフルエンサー（女性　中学生　練馬区）

・お医者さん（女性　小学校高学年　杉並区）

・事故の体験談、医療関係者からのリアルなお話（男性　中学生　八王子市）

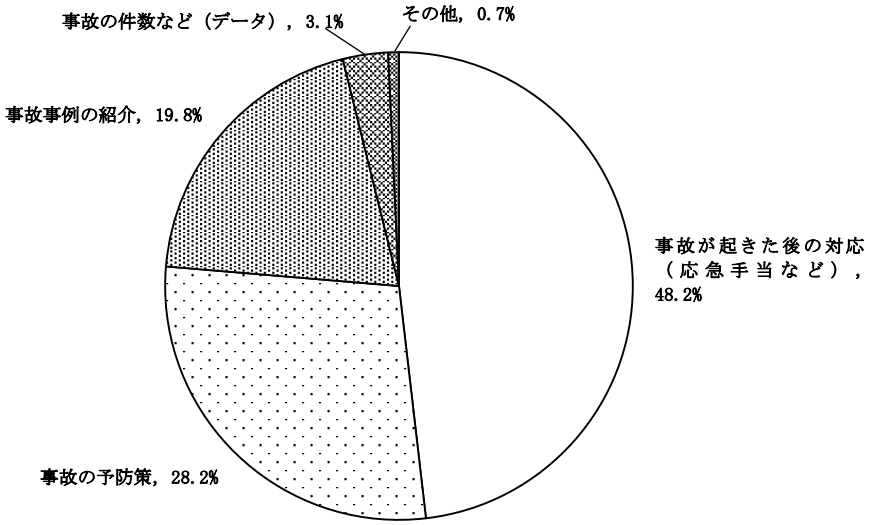
■学年別


小学校低学年　(n=181)
47.5%
27.6%
4.4%
18.2%
2.2%
小学校高学年　(n=181)
40.9%
33.1%
8.8%
12.7%
4.4%
中学生　(n=180)
38.3%
24.4%
20.0%
13.9%
3.3%
高校生　(n=163)
50.3%
19.0%
23.3%
6.7%
0.6%
保護者
行政(区役所や市役所・消防署や警察署など)
友人
学校の先生
その他

日常生活での事故で知りたいこと

問４　日常生活での事故について、一番知りたいと思うものは何ですか？

(n=1,086)



【調査結果の概要】

「事故が起きた後の対応（応急手当など)」(48.2%）が最も高く、以下、「事故の予防策」(28.2%)、「事故事例の紹介」(19.8%）などと続いている。

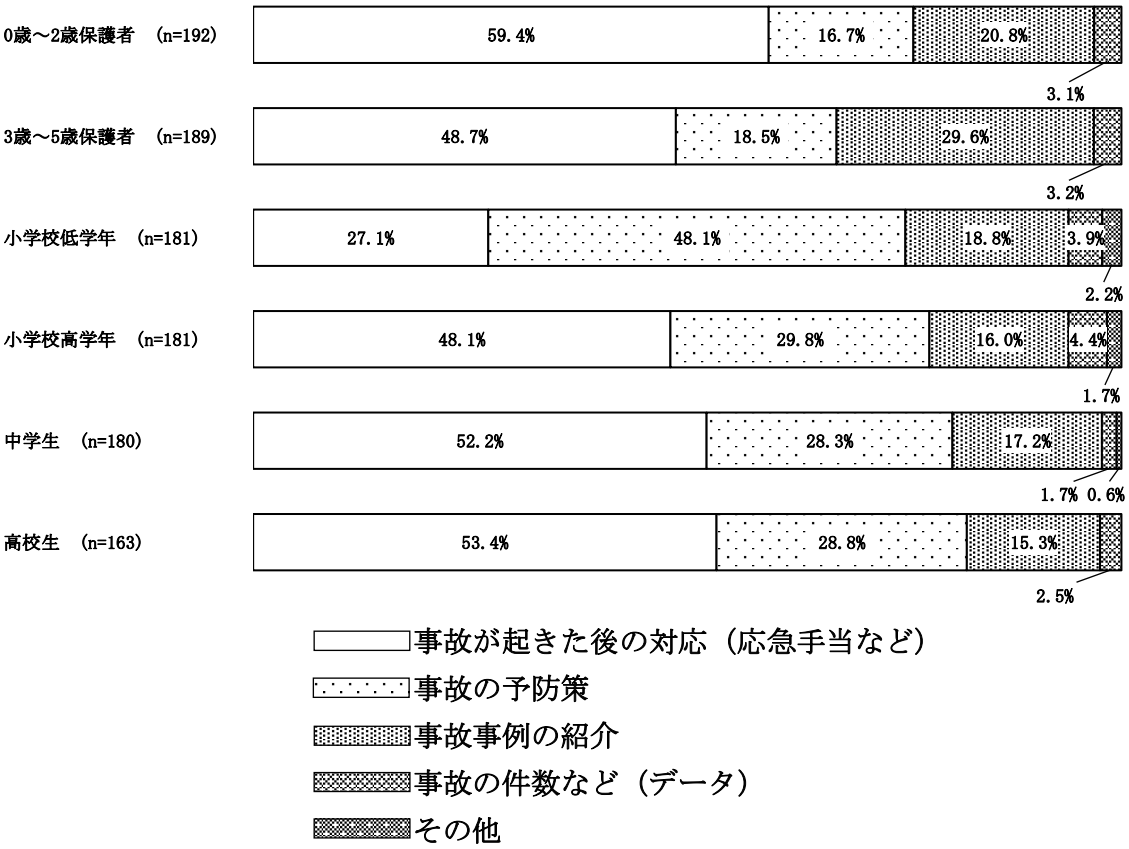
◎その他のご意見（例）

・誰が、事故に遭ってしまったか。また、詳しいこと。なぜなら、助けてあげられるかも知れないから。（女性　小学校低学年　練馬区）

・1 日に自分が事故に遭う確率（男性　小学校高学年　葛飾区）

・なぜこの事故が起きたのか。（女性　小学校低学年　江戸川区）

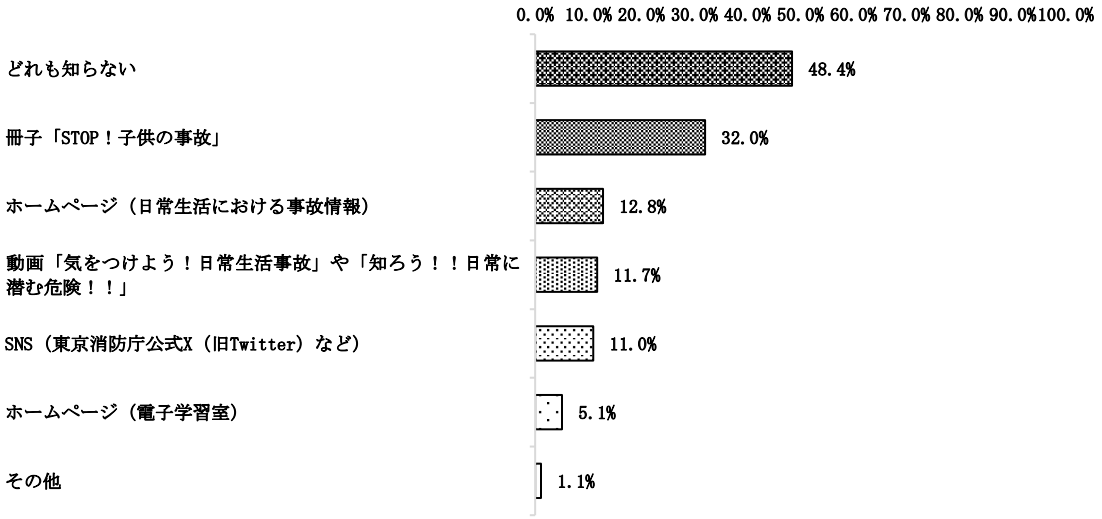
■学年別


0歳～2歳保護者　(n=192)
59.4%
16.7%
20.8%
3.1%
3歳～5歳保護者　(n=189)
48.7%
18.5%
29.6%
3.2%
小学校低学年　(n=181)
27.1%
48.1%
18.8%
3.9%
2.2%
小学校高学年　(n=181)
48.1%
29.8%
16.0%
4.4%
1.7%
中学生　(n=180)
52.2%
28.3%
17.2%
1.7%
0.6%
高校生　(n=163)
53.4%
28.8%
15.3%
2.5%
事故が起きた後の対応（応急手当など）
事故の予防策
事故事例の紹介
事故の件数など（データ）
その他

東京消防庁のホームページ等で知っている、見たことがあるもの

問５　東京消防庁ではホームページや冊子などで子供の日常生活での事故の防止について呼びかけを行っています。知っている、見たことがあるものをすべて選んでください。

MA（n=1,086）



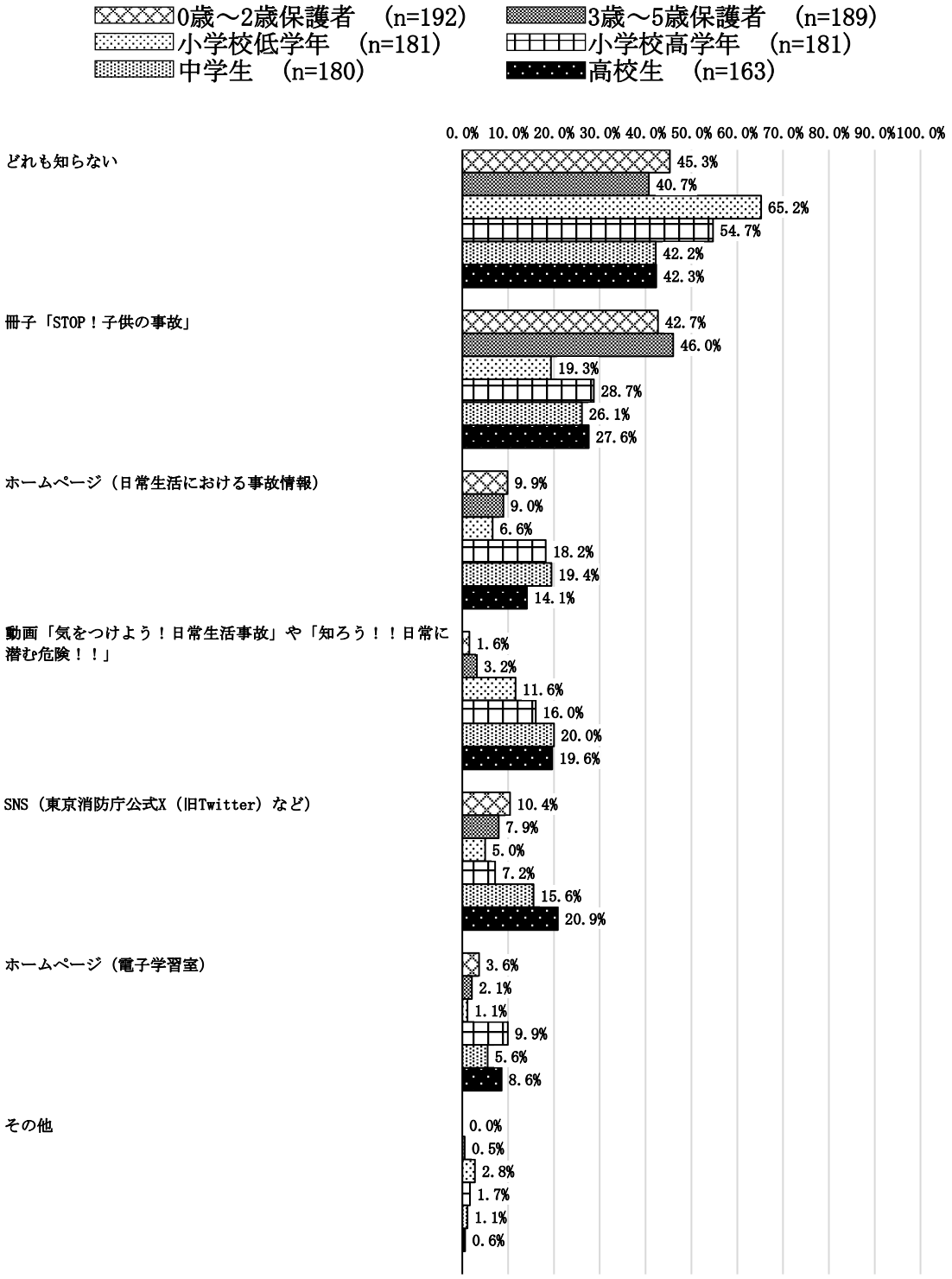
【調査結果の概要】

「どれも知らない」（48.4%）が最も高く、以下、「冊子「STOP！子供の事故」」（32.0%）、「ホームページ（日常生活における事故情報）」（12.8%）などと続いている。

◎その他のご意見（例）

・学校での消防署の社会科見学（女性　小学校高学年　練馬区）
・東京消防庁公式アプリ（その他/回答しない　高校生　江戸川区）
・街中のポスター、横断幕（女性　中学生　渋谷区）

■学年別


0歳～2歳保護者　(n=192)
3歳～5歳保護者　(n=189)
小学校低学年　(n=181)
小学校高学年　(n=181)
中学生　(n=180)
高校生　(n=163)
0.0% 10.0% 20.0% 30.0% 40.0% 50.0% 60.0% 70.0% 80.0% 90.0% 100.0%
どれも知らない
45.3%
40.7%
65.2%
54.7%
42.2%
42.3%
冊子「STOP！子供の事故」
42.7%
46.0%
19.3%
28.7%
26.1%
27.6%
ホームページ（日常生活における事故情報）
9.9%
9.0%
6.6%
18.2%
19.4%
14.1%
動画「気をつけよう！日常生活事故」や「知ろう！！日常に潜む危険！！」
1.6%
3.2%
11.6%
16.0%
20.0%
19.6%
SNS（東京消防庁公式X（旧Twitter）など）
10.4%
7.9%
5.0%
7.2%
15.6%
20.9%
ホームページ（電子学習室）
3.6%
2.1%
1.1%
9.9%
5.6%
8.6%
その他
0.0%
0.5%
2.8%
1.7%
1.1%
0.6%

ヤングケアラーについて（対象：小学生、中高生、保護者）

調 査 項 目

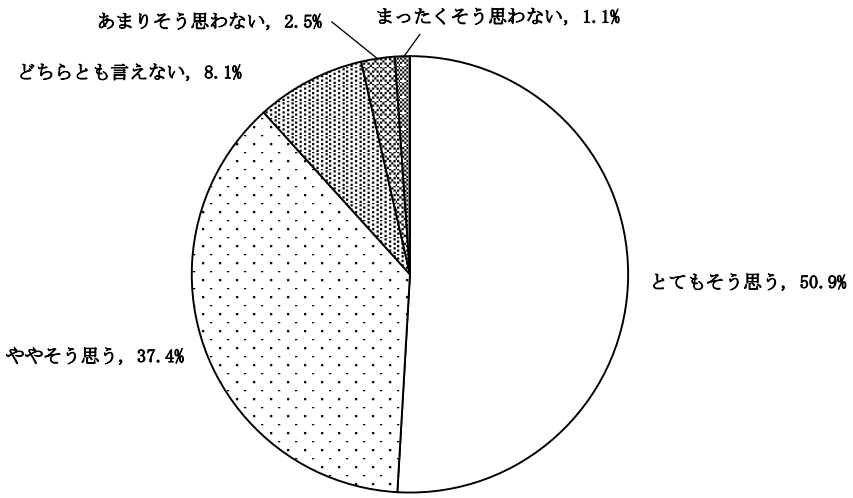
問１	ホームページの分かりやすさ
問２	ヤングケアラーについて一番理解できたコンテンツ
問３	ヤングケアラーについて一番理解できなかったコンテンツ
問４（子供）	自身がヤングケアラーであると思ったか
問５（子供）	ホームページの良かった点、改善点

「ヤングケアラー」とは、本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っている子供のことを言います。責任や負担の重さにより、学業や友人関係などに影響が出てしまうことがあります。
東京都ではヤングケアラー支援のため、ヤングケアラーについて知り、理解してもらうことなどを目的として、ホームページを制作しています。
第１回でもヤングケアラーをテーマにアンケートを実施しましたが、公開予定のホームページのベータ版をご覧いただき、感想を教えてください。
（https://www.young-carer.metro.tokyo.lg.jp）

ホームページの分かりやすさ

問１　ホームページ全体はヤングケアラーについて理解する上で分かりやすい内容でしたか。

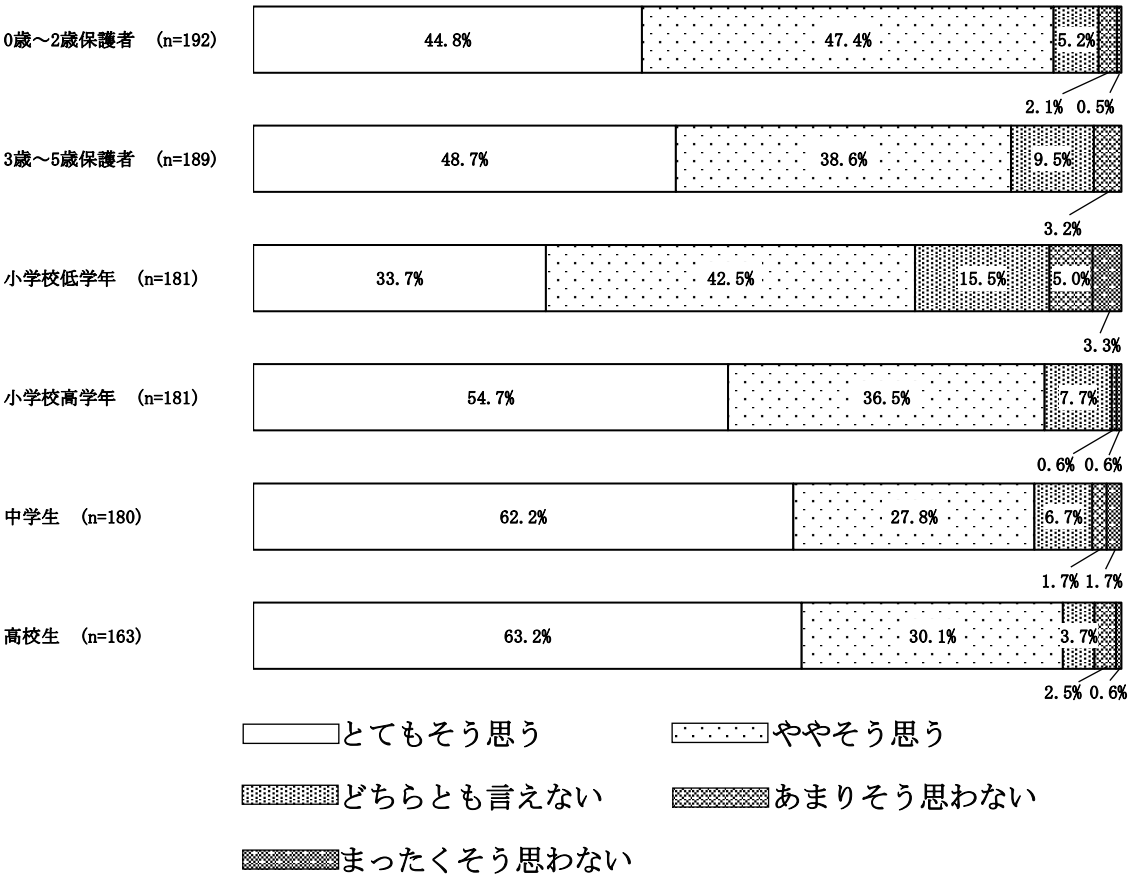
（n=1,086）



【調査結果の概要】

「とてもそう思う」(50.9%) が最も高く、以下、「ややそう思う」(37.4%)、「どちらとも言えない」(8.1%) などと続いている。

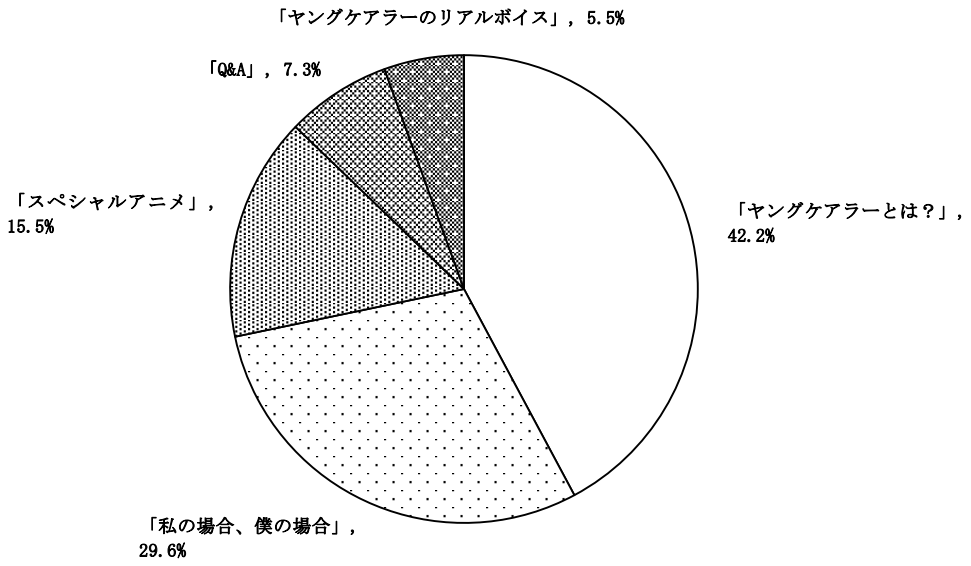
■学年別



ヤングケアラーについて一番理解できたコンテンツ

問２　以下のコンテンツのうち、一番ヤングケアラーについて理解することができたのはどのコンテンツでしたか。

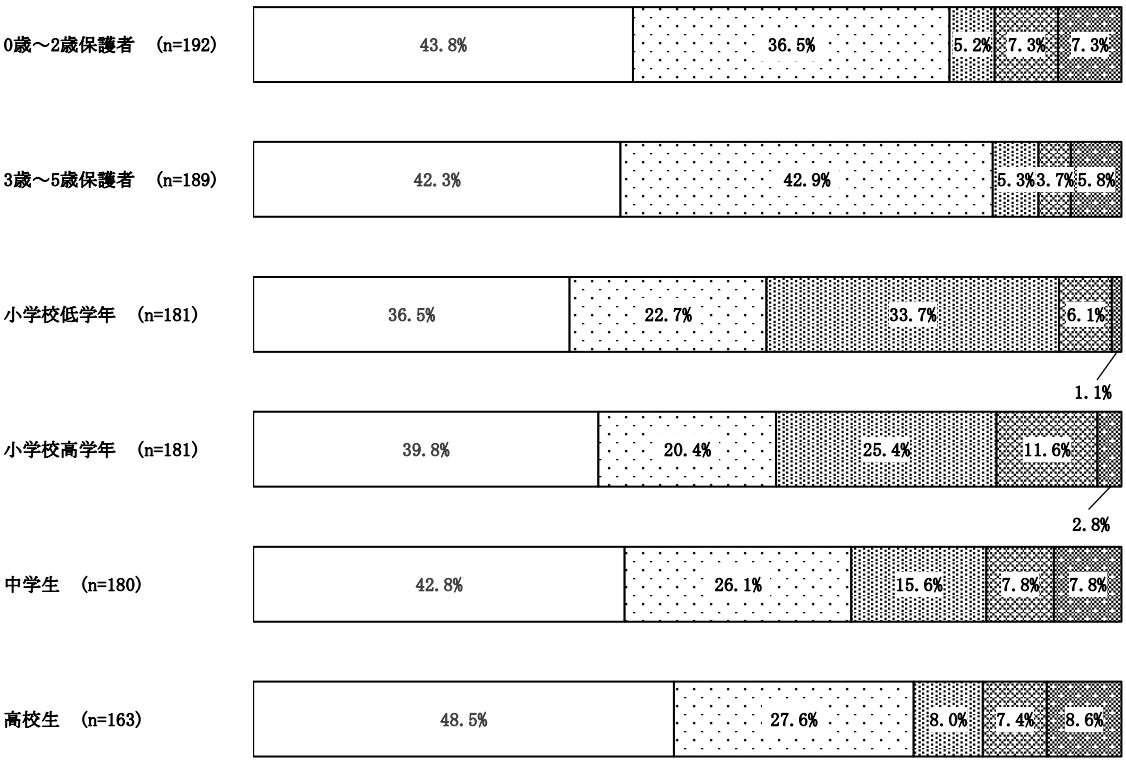
（n=1,086）



【調査結果の概要】

「ヤングケアラーとは？」（42.2%）が最も高く、以下、「私の場合、僕の場合」（29.6%）、「スペシャルアニメ」（15.5%）などと続いている。

■学年別



「ヤングケアラーとは？」　「私の場合、僕の場合」

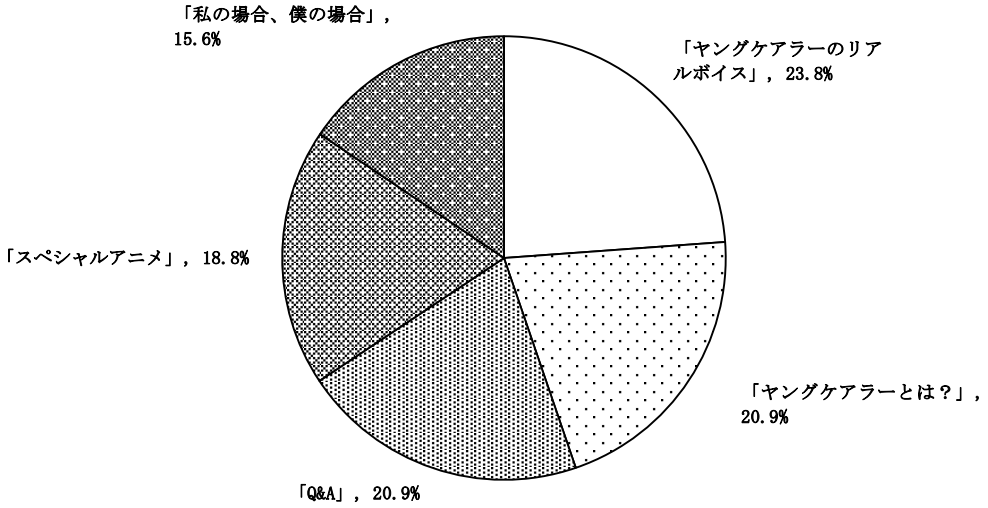
「スペシャルアニメ」　「Q&A」

「ヤングケアラーのリアルボイス」

ヤングケアラーについて一番理解できなかったコンテンツ

問３　問２とは反対に、以下のコンテンツのうち、一番ヤングケアラーについて理解することができなかったのはどのコンテンツでしたか。

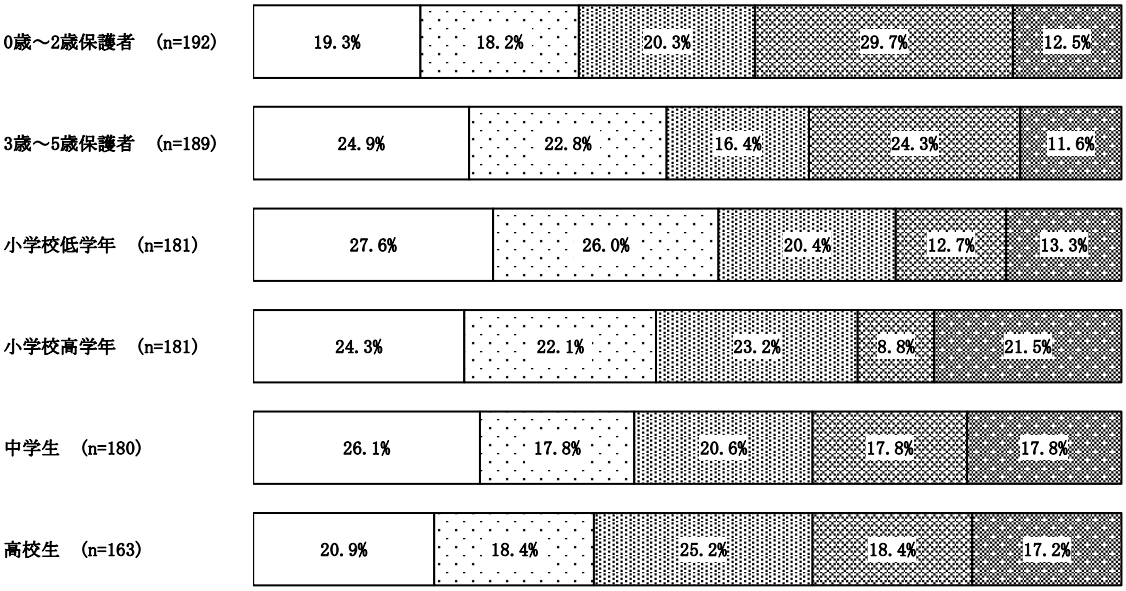
（n=1,086）



【調査結果の概要】

「ヤングケアラーのリアルボイス」（23.8%）が最も高く、以下、「ヤングケアラーとは？」（20.9%）、「Q&A」（20.9%）などと続いている。

■学年別



「ヤングケアラーのリアルボイス」「ヤングケアラーとは？」

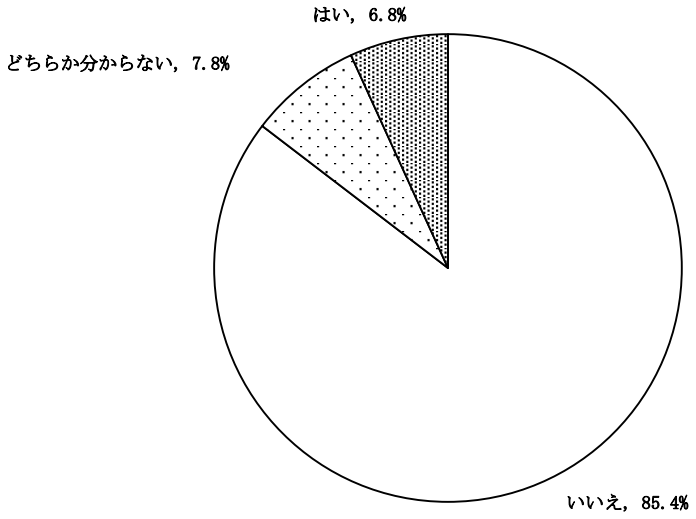
「Q&A」「スペシャルアニメ」

「私の場合、僕の場合」

自身がヤングケアラーであると思ったか（子供）

問４　ホームページを見て、自身がヤングケアラーかもしれない若しくはヤングケアラーであると思いましたか。

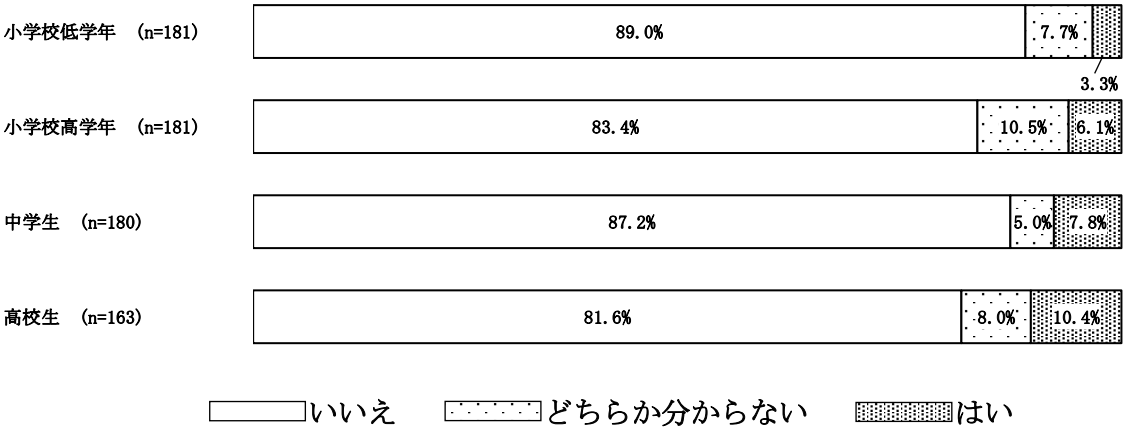
(n=705)



【調査結果の概要】

「いいえ」(85.4%) が最も高く、以下、「どちらか分からない」(7.8%)、「はい」(6.8%) と続く。

■学年別



ホームページの良かった点、改善点（子供）

問５　ヤングケアラー当事者からの視点でホームページを見て、相談先や知りたかった情報を見つけることができたなどホームページの良かった点、または改善点はありましたか。自由に記載してください。

（n=48）

【回答内容】回答内容として次のようなものがあった（例示）。

・とてもわかりやすいホームページでした。スペシャルアニメの文字が多く、読み上げてほしかったです。（女性　小学校低学年　江東区）
・写真がいっぱいあってわかりやすかった（男性　小学校高学年　板橋区）
・何がヤングケアラーに当たるかやどこに相談したらいいのかを知ることができてよかった。（女性　高校生　品川区）
・ヤングケアラーがどういう人たちなのかよくわかった（男性　中学生　板橋区）
・自分がヤングケアラーである事を気付くこと相談先がある事がわかりとてもいいと思いました。（女性　中学生　八王子市）
・当人たちの声がリアルに載っていたから、自分の周りの友達にいるかもしれないと感じた。これからはその可能性を考えながら友達と話す時に気をつけようと思う。（女性　高校生　練馬区）

東京の道路整備について（対象：小学生、中高生、保護者）

調 査 項 目

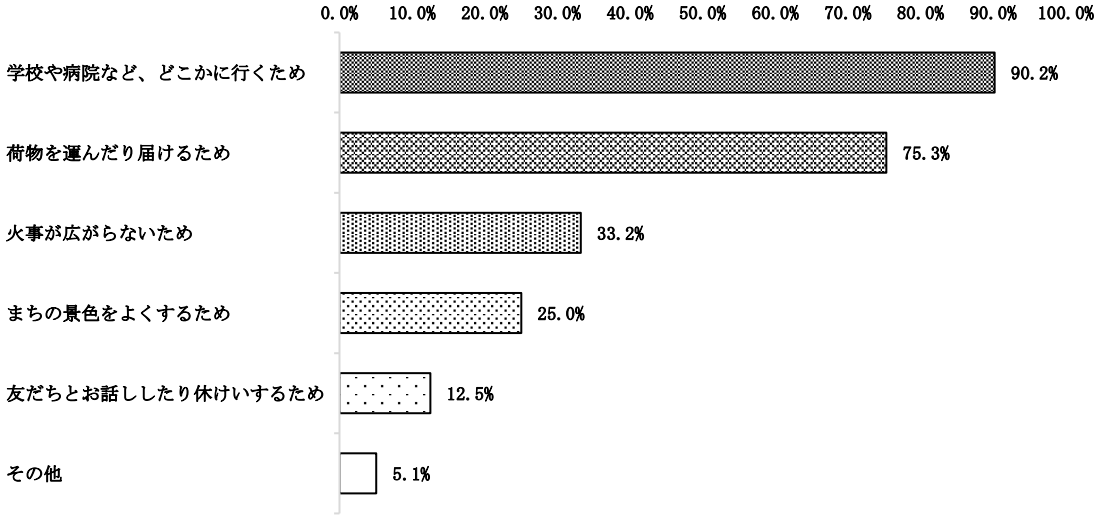
問１	道路が必要だと思う理由
問２	自治体が道路をつくっていることを知っているか
問３	自治体が道路をつくっていることをどこで知ったか
問４	写真の中で一番悪いと思うこと
問５	写真の中で一番いいと思うこと

道路は、都民生活を支える最も基礎的な社会基盤として重要な役割を担っております。東京都では、交通渋滞の解消等を目的として道路の整備を進めています。今後もより良い道路整備を進めるため、みなさんの意見をきかせてください。

道路が必要だと思う理由

問１　道路は何のために必要だと思いますか？
当てはまるものをいくつでも選んでください。

MA（n=1,086）



【調査結果の概要】
「学校や病院など、どこかに行くため」（90.2%）が最も高く、以下、「荷物を運んだり届けるため」（75.3%）、「火事が広がらないため」（33.2%）などと続いている。

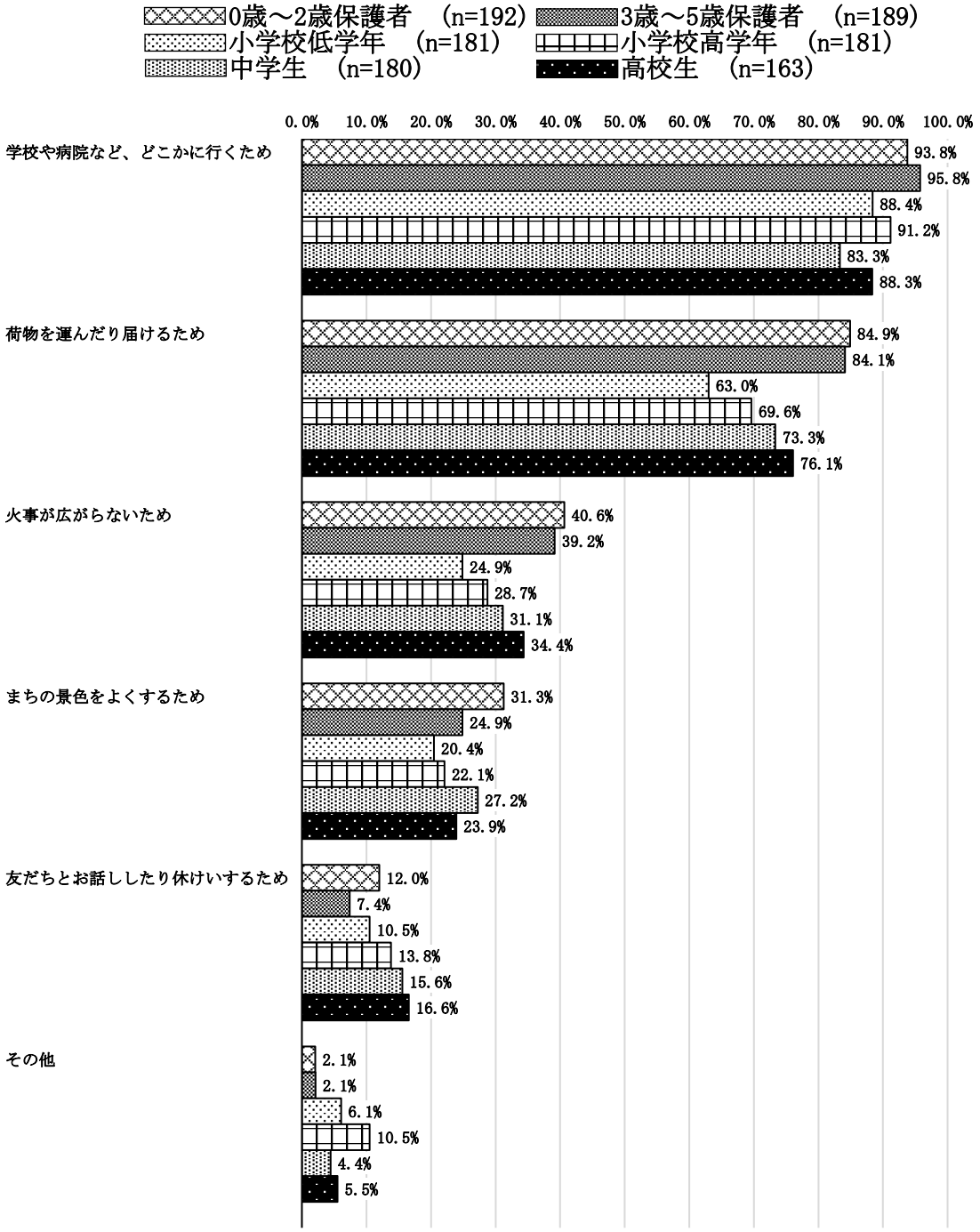
◎その他のご意見（例）

・怪我や事故が起きないよう通行しやすくするため（女性　３歳～５歳保護者　北区）

・車や自転車などで移動しやすくするため（女性　小学校高学年　目黒区）

・災害時の救援のため（男性　中学生　東村山市）

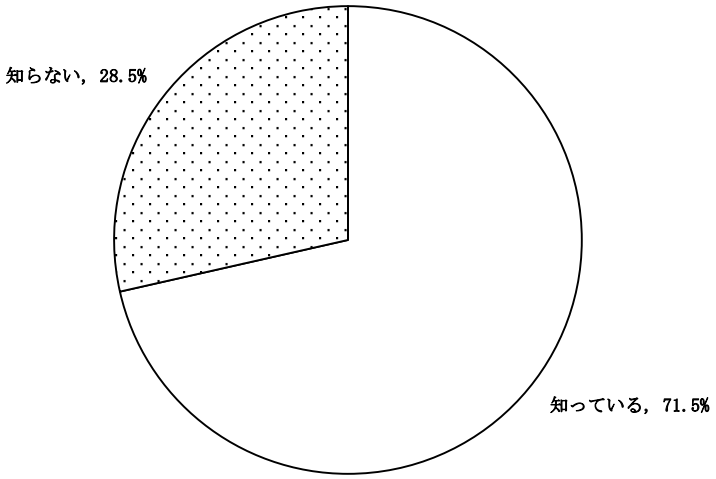
■学年別



自治体が道路をつくっていることを知っているか

問２　東京都や区市町村等の自治体が道路をつくっていることを知っていますか？

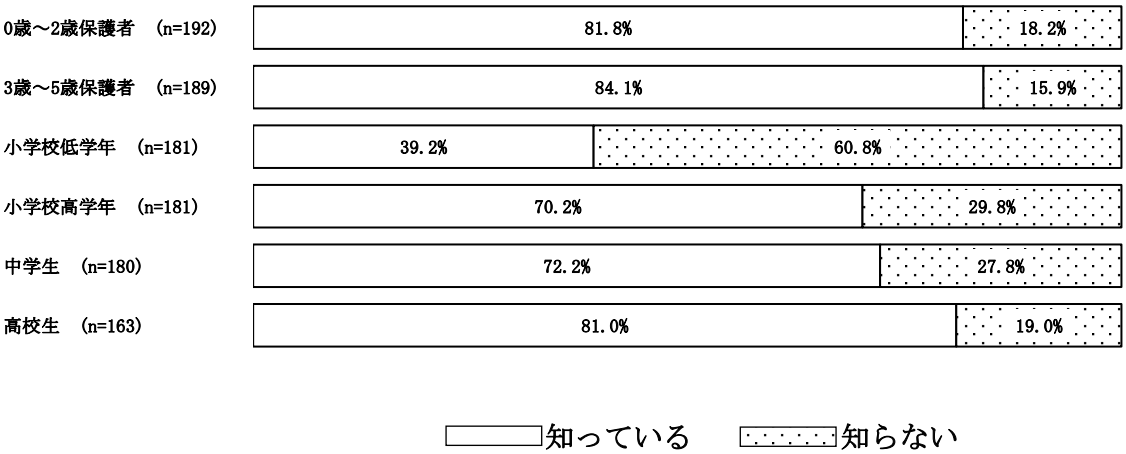
(n=1,086)



【調査結果の概要】

「知っている」(71.5%) が最も高く、以下、「知らない」(28.5%) と続く。

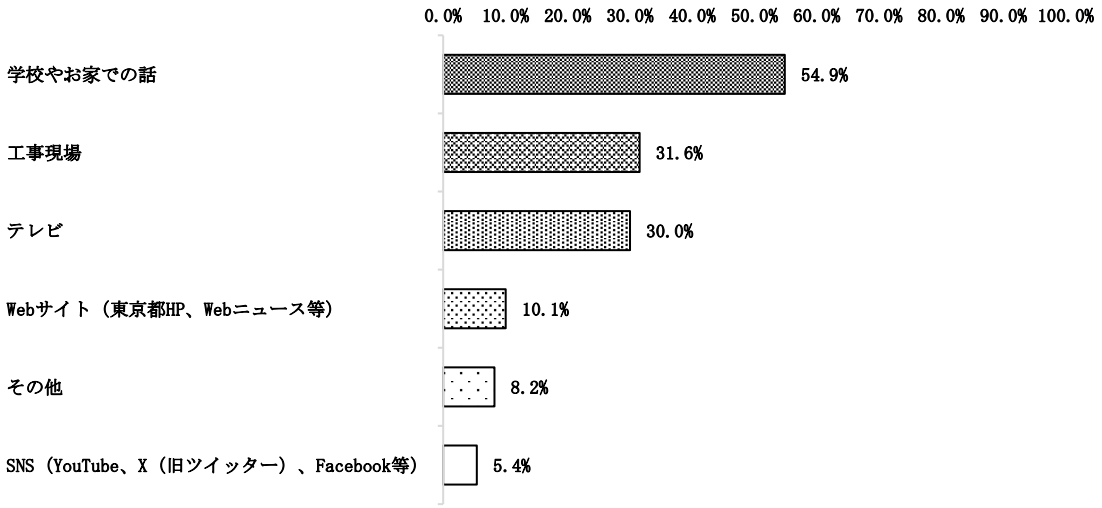
■学年別



自治体が道路をつくっていることをどこで知ったか

問３　（問２で「知っている」と回答した場合）どこで知りましたか？
当てはまるものをいくつでも選んでください。

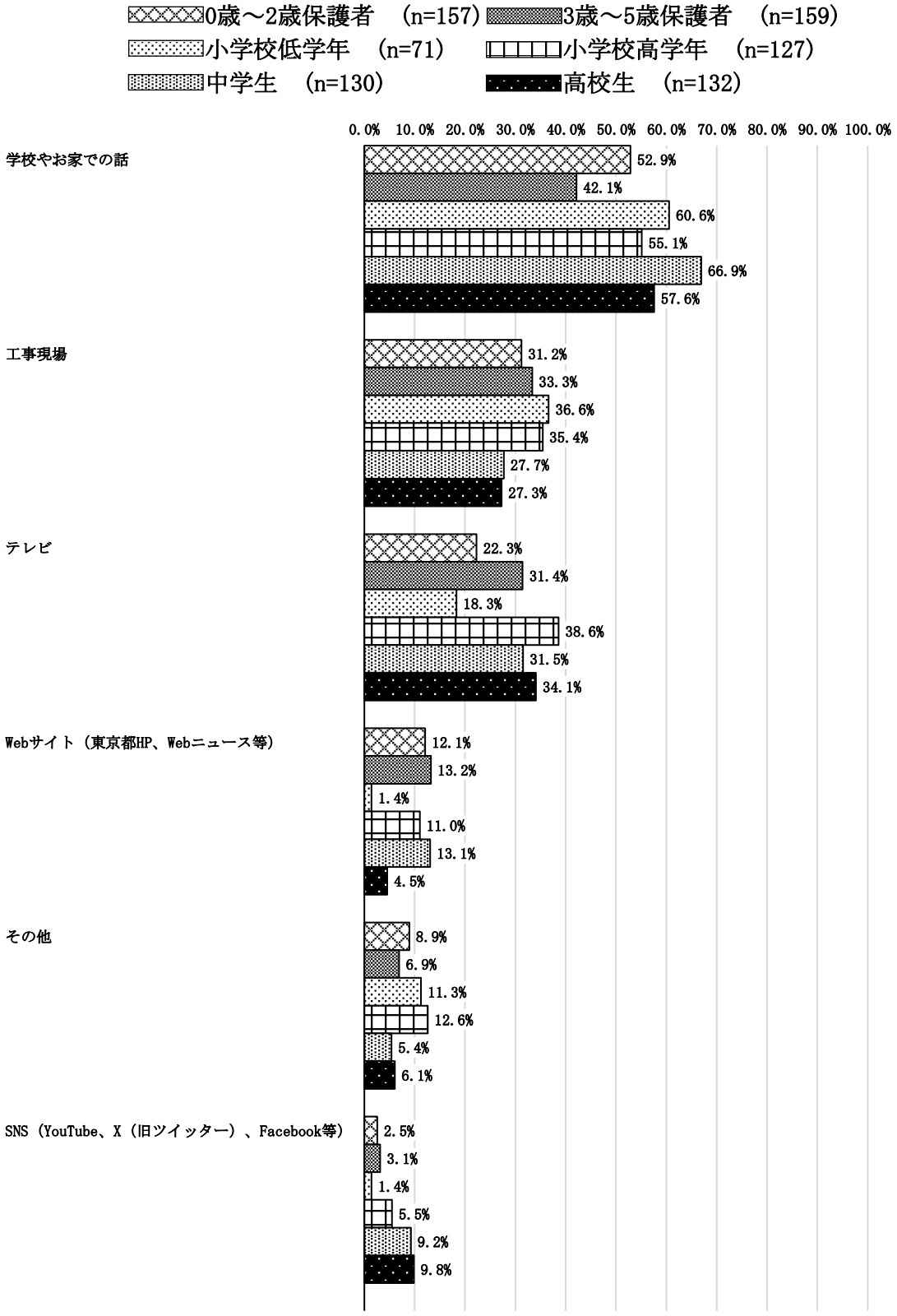
MA（n=776）



【調査結果の概要】
「学校やお家での話」（54.9%）が最も高く、以下、「工事現場」（31.6%）、「テレビ」（30.0%）などと続いている。

◎その他のご意見（例）
・都道など道の名前から。（男性　３歳～５歳保護者　中野区）
・学校の授業（女性　小学校高学年　葛飾区）
・標識　都道何号線など（男性　高校生　練馬区）

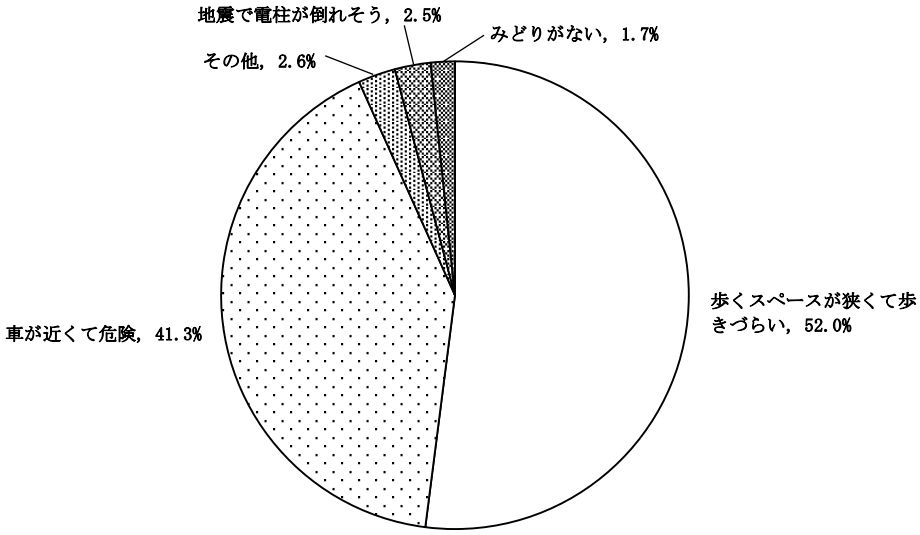
■学年別


0歳～2歳保護者　(n=157)
3歳～5歳保護者　(n=159)
小学校低学年　(n=71)
小学校高学年　(n=127)
中学生　(n=130)
高校生　(n=132)
0.0% 10.0% 20.0% 30.0% 40.0% 50.0% 60.0% 70.0% 80.0% 90.0% 100.0%
学校やお家での話
52.9%
42.1%
60.6%
55.1%
66.9%
57.6%
工事現場
31.2%
33.3%
36.6%
35.4%
27.7%
27.3%
テレビ
22.3%
31.4%
18.3%
38.6%
31.5%
34.1%
Webサイト（東京都HP、Webニュース等）
12.1%
13.2%
1.4%
11.0%
13.1%
4.5%
その他
8.9%
6.9%
11.3%
12.6%
5.4%
6.1%
SNS（YouTube、X（旧ツイッター）、Facebook等）
2.5%
3.1%
1.4%
5.5%
9.2%
9.8%

写真の中で一番悪いと思うこと

問４　写真で一番悪いと思う点を教えてください。

（n=1,086）



【調査結果の概要】

「歩くスペースが狭くて歩きづらい」（52.0%）が最も高く、以下、「車が近くて危険」（41.3%）、「その他」（2.6%）などと続いている。

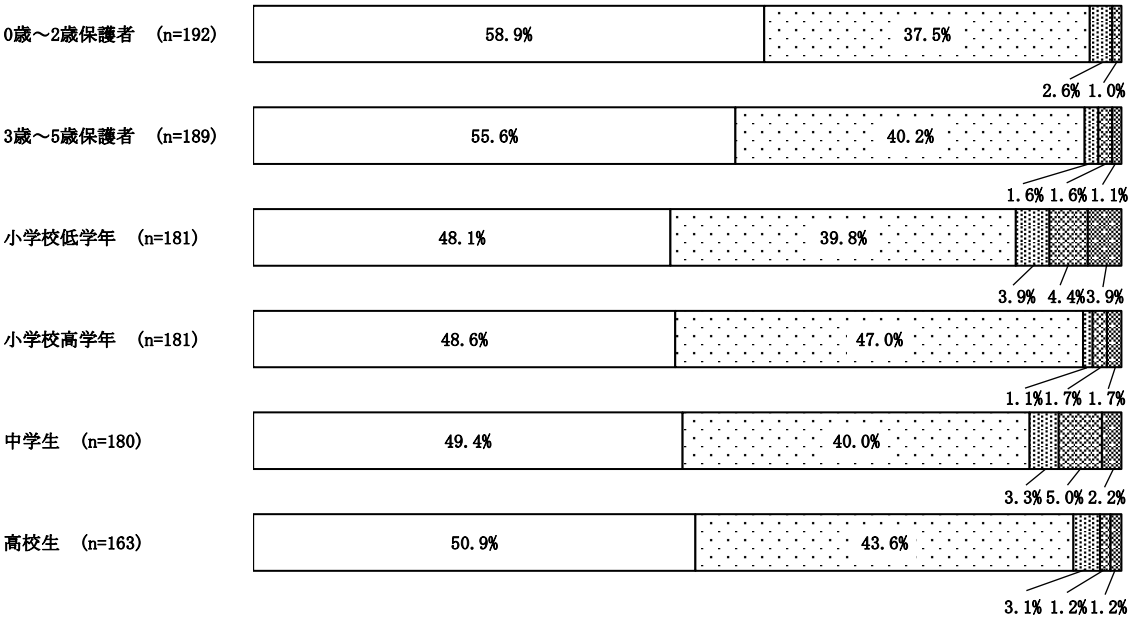
◎その他のご意見（例）

・歩行者と車との距離が近くて危険。これで自転車も来ていたら、自転車と歩行者、自転車と自動車同士も接触の危険性が高い。（女性　０歳～２歳保護者　稲城市）

・建物などを建てすぎて、歩くところも、車が走るところも狭くなっている。（女性　小学校低学年　板橋区）

・道路が狭くて歩行者も車も大変そう（男性　中学生　江戸川区）

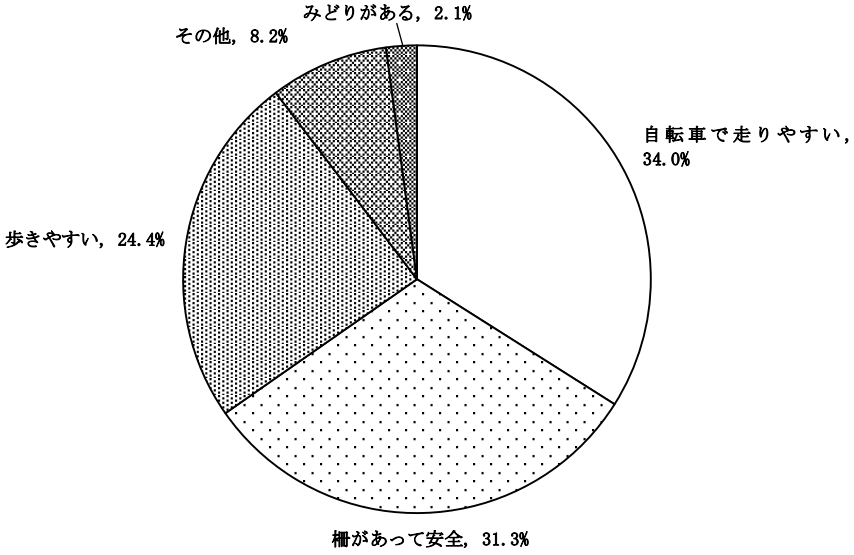
■学年別



写真の中で一番いいと思うこと

問５　写真で一番いいと思う点を教えてください。

（n=1,086）



【調査結果の概要】

「自転車で走りやすい」（34.0%）が最も高く、以下、「柵があって安全」（31.3%）、「歩きやすい」（24.4%）などと続いている。

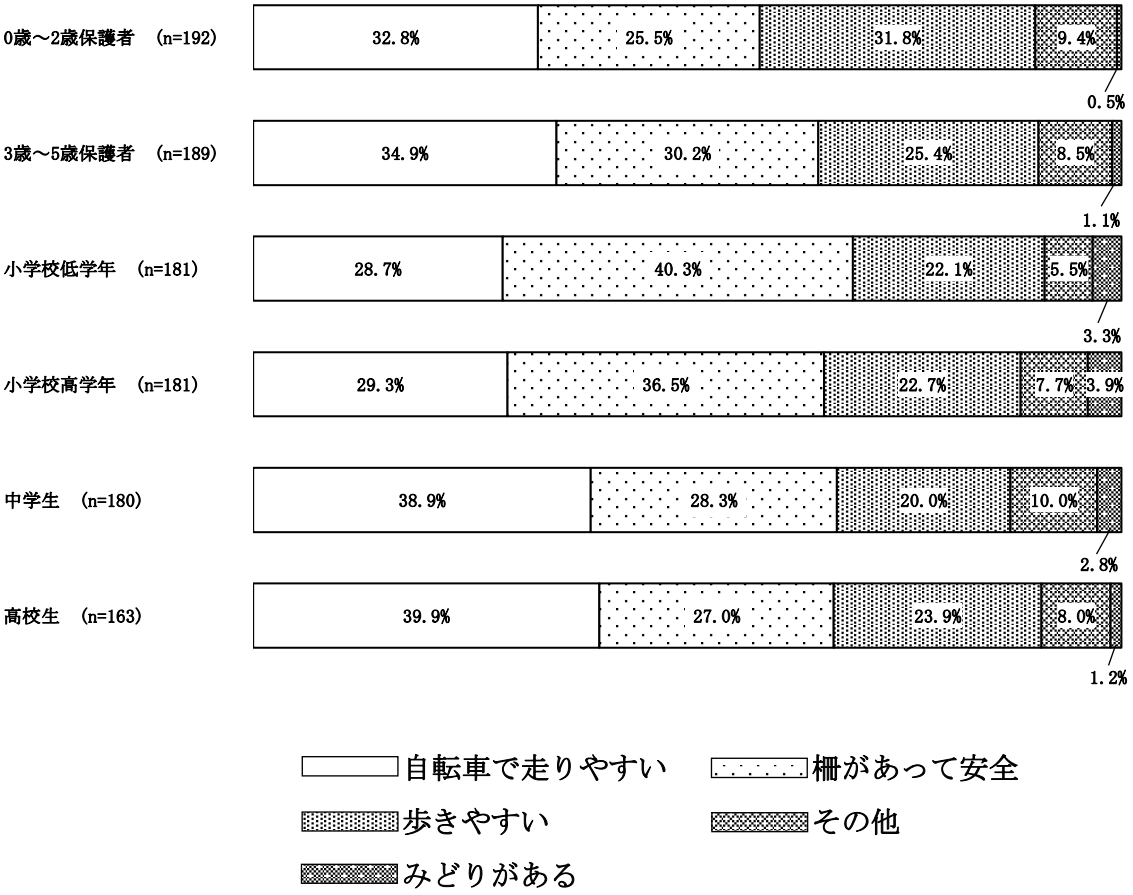
◎その他のご意見（例）

・歩行者と自転車の道が分かれている。自転車と車道に柵があるのも安心で子供を乗せて自転車を運転している身としてはとても魅力的。（女性　０歳～２歳保護者　大田区）

・歩道と自転車はあいだが木を生やしていてスペースを有効活用していていいと思うしガードレールで安全性を高めているし事故を未然に防いでる
（男性　小学校高学年　世田谷区）

・歩行者と自転車で場所が決められているから、事故になりにくい
（その他／回答しない　高校生　大田区）

■学年別



中高生の放課後や休日の居場所について（対象：中高生）

調 査 項 目

問１	中学生になって以降の児童館の訪問有無
問２	現在行っていない理由
問３	児童館への期待や訪れたいと思う条件
問４	こども食堂への訪問有無
問５	現在行っていない理由
問６	こども食堂について感じること

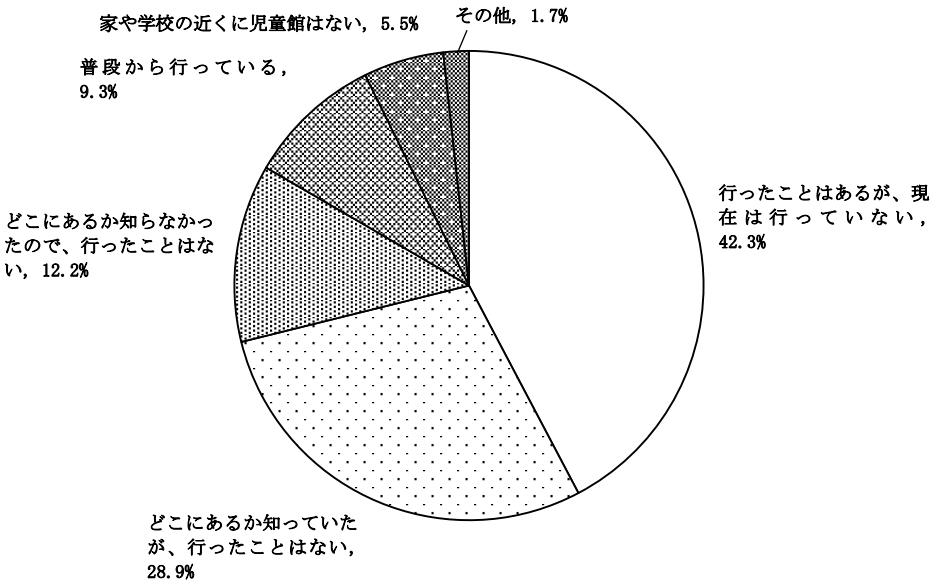
東京都では、中学生や高校生のみなさんが、自宅や学校以外でも充実した時間を過ごせる居場所をつくっていきたいと考えています。そこで、今ある「児童館」や「こども食堂」が、みなさんにどのくらい知られていて、利用されているのかなど、ぜひ教えてください。

【児童館】
１８歳までの子供が、無料で自由に利用できます。平日はほぼ毎日開いています（休日も開いている児童館もあります)。図書室や工作室、遊戯室などのほか、音楽活動や卓球などのスポーツができるところもあります。勉強や友達とおしゃべりをしたり、本や漫画を読んで過ごすこともできます。
【こども食堂】
地域の子供を対象に、無料や低額で食事を提供しているところです。子供が１人でも入ることができます。公民館や集会所、飲食店、スタッフの方のご自宅など、色々な場所で開催されています。お弁当などを配っているところもあります。月に１回程度開催しているところから、毎日開催しているところもあり、様々です。

中学生になって以降の児童館の訪問有無

問１　家や学校の近くの「児童館」について、中学生になって以降、行っていますか。

（n=343）



【調査結果の概要】

「行ったことはあるが、現在は行っていない」（42.3%）が最も高く、以下、「どこにあるか知っていたが、行ったことはない」（28.9%）、「どこにあるか知らなかったので、行ったことはない」（12.2%）などと続いている。

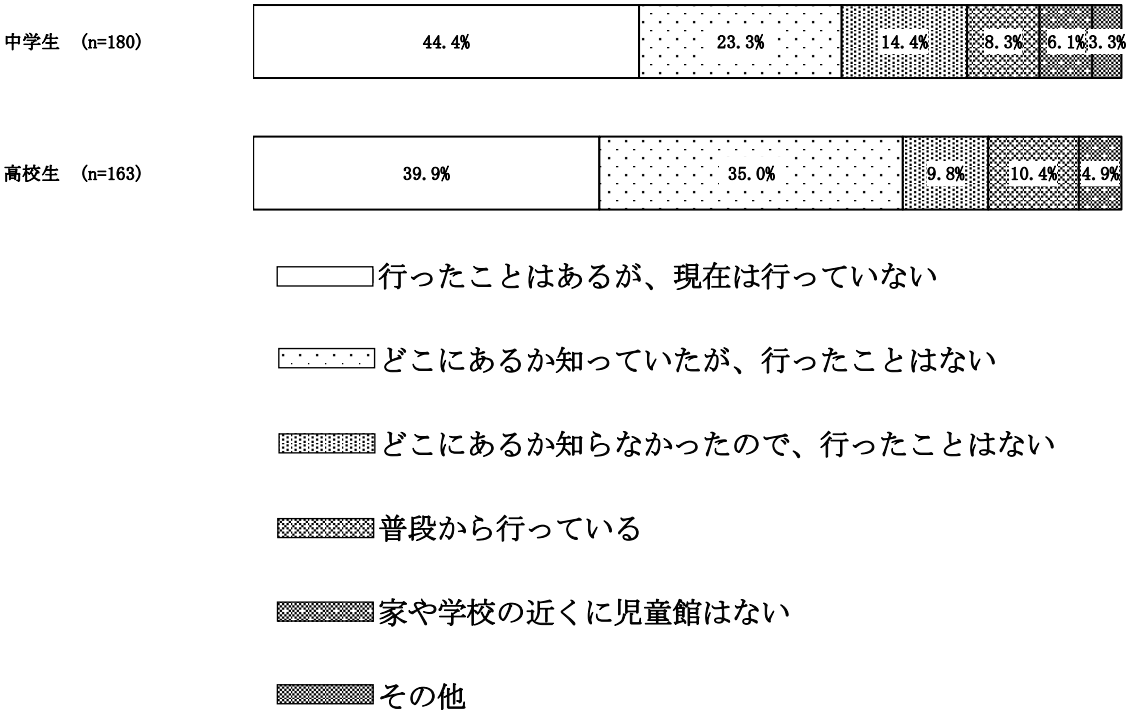
◎その他のご意見（例）

・イベントがある時などに時々行っている（女性　中学生　町田市）

・3ヶ月に一回程度に行く（男性　中学生　中央区）

・目的に合わせて利用している（女性　中学生　目黒区）

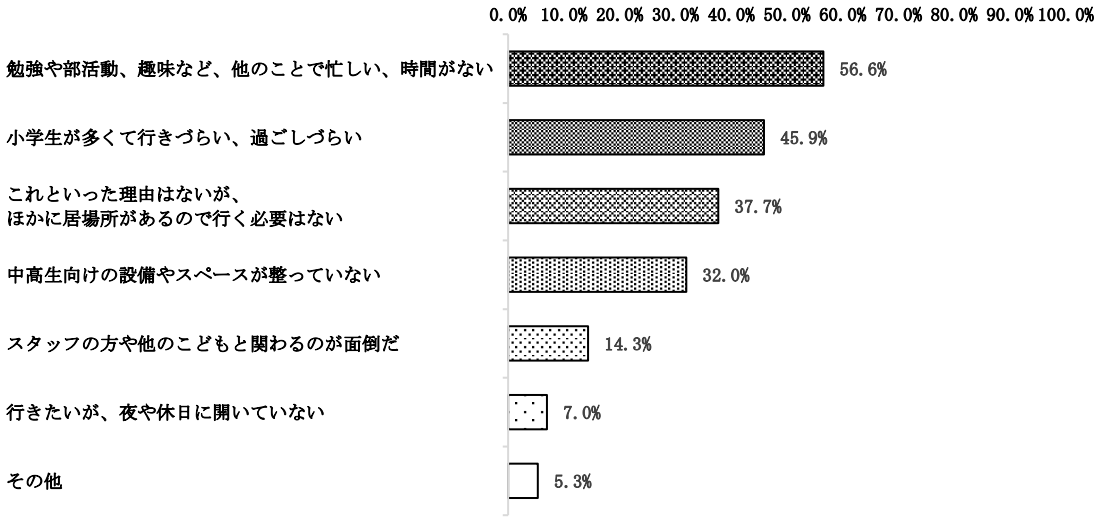
■学年別


中学生 (n=180)
44.4%
23.3%
14.4%
8.3%
6.1%
3.3%
高校生 (n=163)
39.9%
35.0%
9.8%
10.4%
4.9%
行ったことはあるが、現在は行っていない
どこにあるか知っていたが、行ったことはない
どこにあるか知らなかったので、行ったことはない
普段から行っている
家や学校の近くに児童館はない
その他

現在行っていない理由

問２　問１で「行ったことはあるが、現在は行っていない」か、「どこにあるか知っていたが、行ったことはない」と答えた方にお聞きします。現在行っていない理由を教えてください。
当てはまるものをいくつでも選んでください。

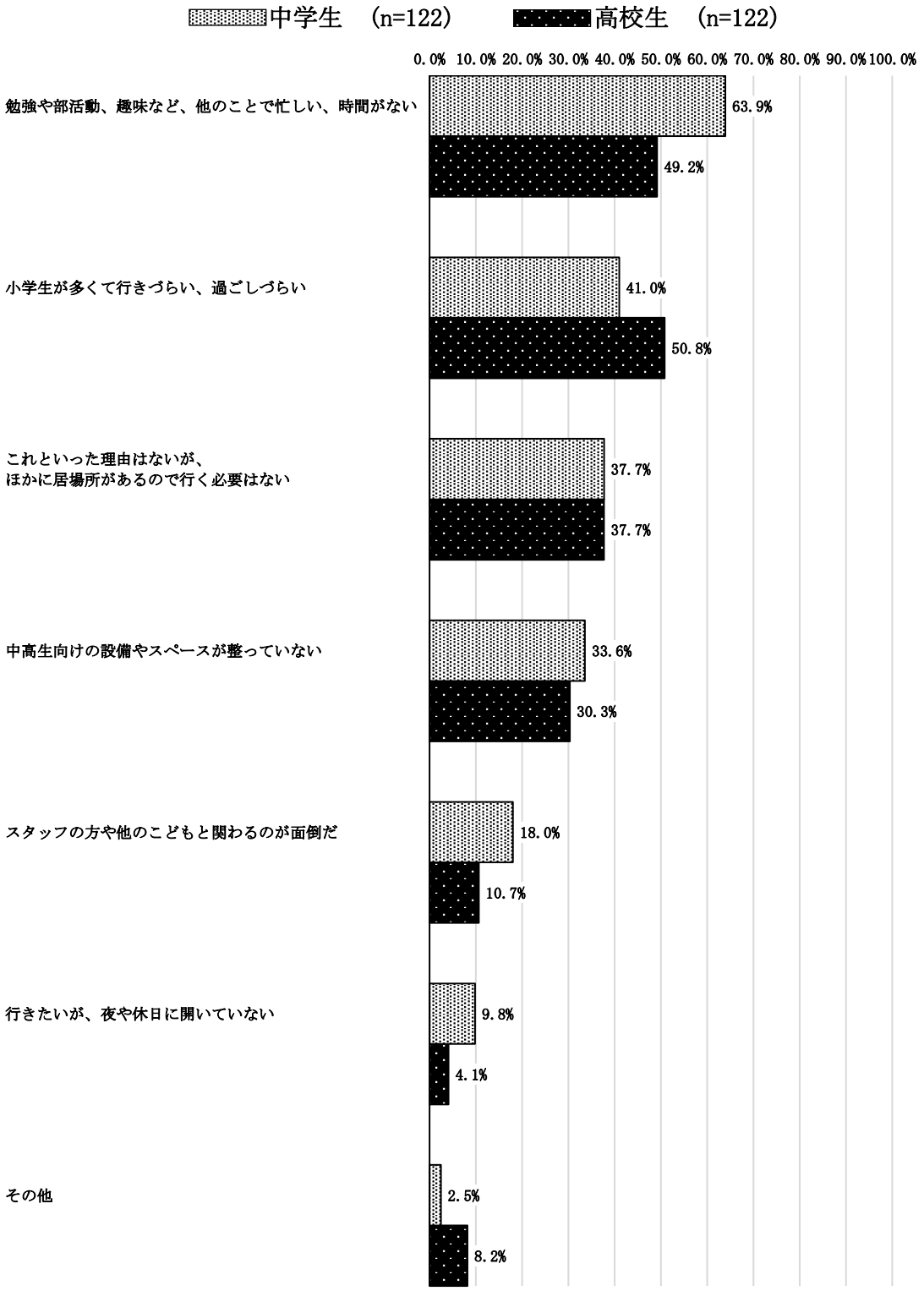
MA（n=244）



【調査結果の概要】
「勉強や部活動、趣味など、他のことで忙しい、時間がない」（56.6%）が最も高く、以下、「小学生が多くて行きづらい、過ごしづらい」（45.9%）、「これといった理由はないが、ほかに居場所があるので行く必要はない」（37.7%）などと続いている。

◎その他のご意見（例）
・行っても静かだし、中学生にもなると体が大きくなって小学生たちに迷惑がかかる。
（女性　中学生　府中市）
・元々定期的に使っていたわけではなく、イベントなどに参加する程度だったので、進学してからはイベントの情報などが回ってこなくなったので行く機会がない。
（女性　中学生　大田区）
・児童館に対してのみんなの認識が私含めて中学生未満の子らが行くところだと大半が認識してる（男性　高校生　足立区）

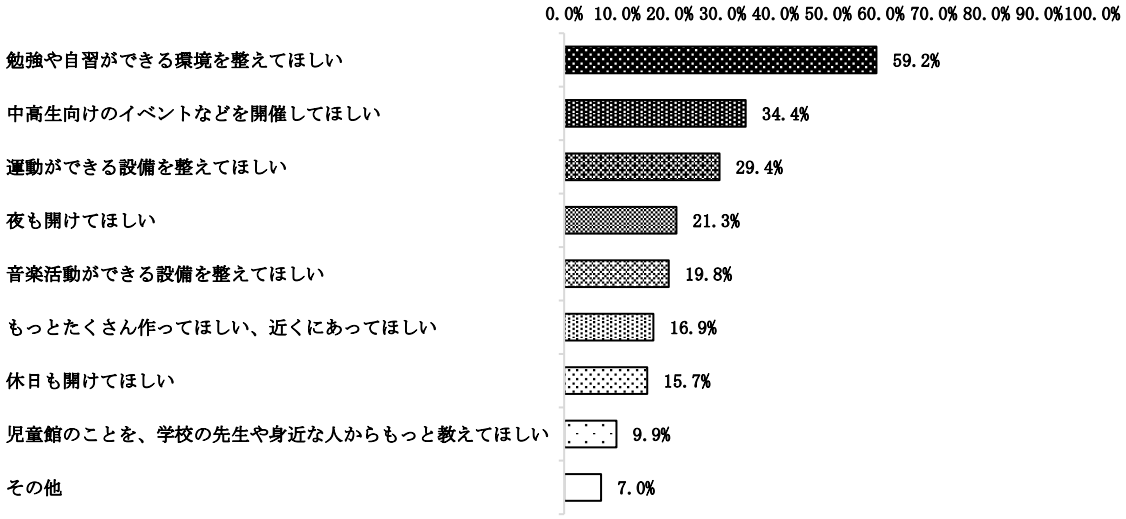
■学年別


中学生　(n=122)
高校生　(n=122)
0.0% 10.0% 20.0% 30.0% 40.0% 50.0% 60.0% 70.0% 80.0% 90.0% 100.0%
勉強や部活動、趣味など、他のことで忙しい、時間がない
63.9%
49.2%
小学生が多くて行きづらい、過ごしづらい
41.0%
50.8%
これといった理由はないが、
ほかに居場所があるので行く必要はない
37.7%
37.7%
中高生向けの設備やスペースが整っていない
33.6%
30.3%
スタッフの方や他のこどもと関わるのが面倒だ
18.0%
10.7%
行きたいが、夜や休日に開いていない
9.8%
4.1%
その他
2.5%
8.2%

児童館への期待や訪れたいと思う条件

問３　「こんな児童館なら行ってみたい・こんな児童館にしてほしい」など、思うものがあれば教えてください。
当てはまるものをいくつでも選んでください。

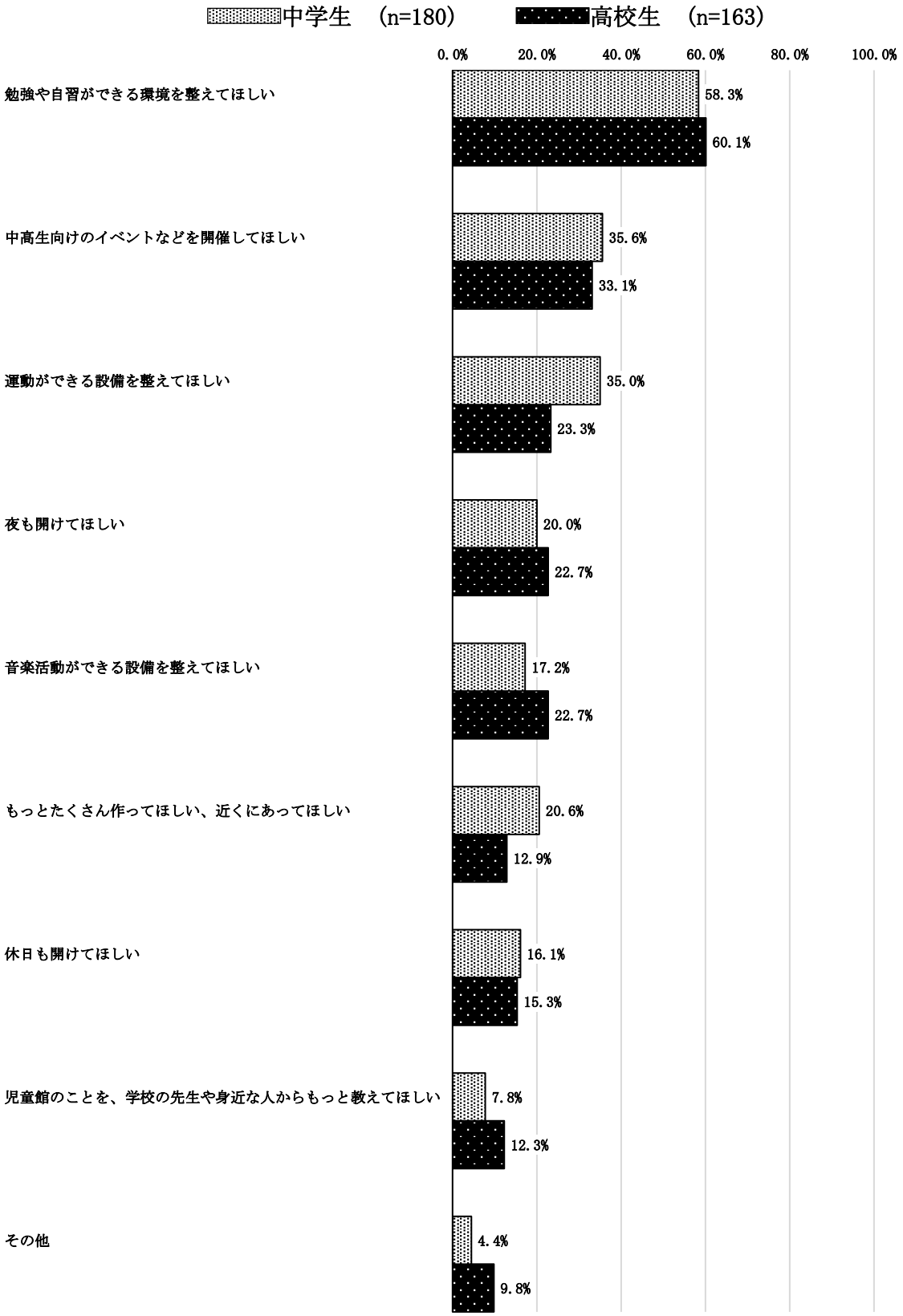
MA（n=343）



【調査結果の概要】
「勉強や自習ができる環境を整えてほしい」（59.2%）が最も高く、以下、「中高生向けのイベントなどを開催してほしい」（34.4%）、「運動ができる設備を整えてほしい」（29.4%）などと続いている。

◎その他のご意見（例）
・個人で活動できる個室のようなスペースがほしい（女性　中学生　江戸川区）
・児童館は小学生までの子供達の為の場所だと思っていました。中学生でも入って良ければ、中学生も利用できる施設（自習室や中学生向けの本がある図書室）であると案内してほしい。（女性　中学生　あきる野市）
・時間帯で中高生が使えるようにしてほしい。他校の生徒と交流できるとよい。
（男性　高校生　渋谷区）

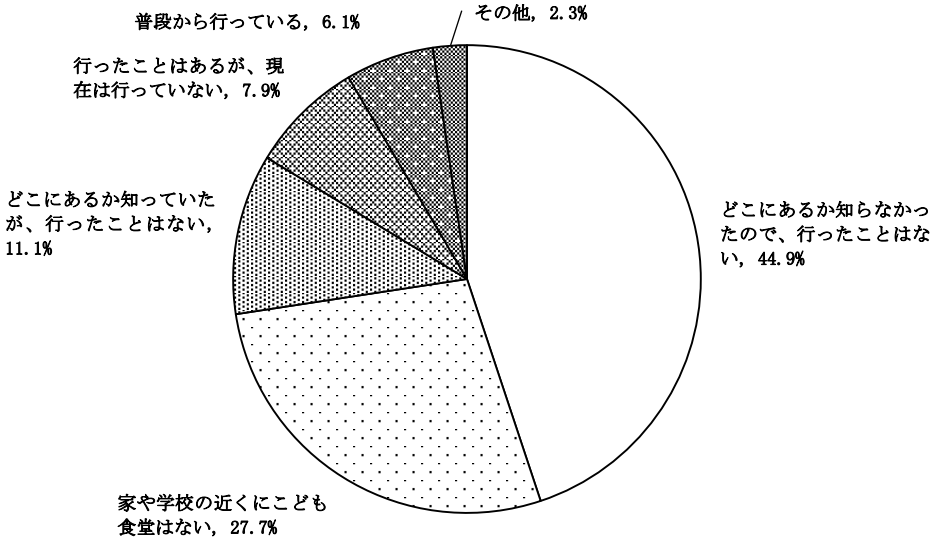
■学年別


中学生　(n=180)
高校生　(n=163)
0.0%
20.0%
40.0%
60.0%
80.0%
100.0%
勉強や自習ができる環境を整えてほしい
58.3%
60.1%
中高生向けのイベントなどを開催してほしい
35.6%
33.1%
運動ができる設備を整えてほしい
35.0%
23.3%
夜も開けてほしい
20.0%
22.7%
音楽活動ができる設備を整えてほしい
17.2%
22.7%
もっとたくさん作ってほしい、近くにあってほしい
20.6%
12.9%
休日も開けてほしい
16.1%
15.3%
児童館のことを、学校の先生や身近な人からもっと教えてほしい
7.8%
12.3%
その他
4.4%
9.8%

こども食堂への訪問有無

問４　地元や家の近くの「こども食堂」に行っていますか。

（n=343）



【調査結果の概要】

「どこにあるか知らなかったので、行ったことはない」（44.9%）が最も高く、以下、「家や学校の近くにこども食堂はない」（27.7%）、「どこにあるか知っていたが、行ったことはない」（11.1%）などと続いている。

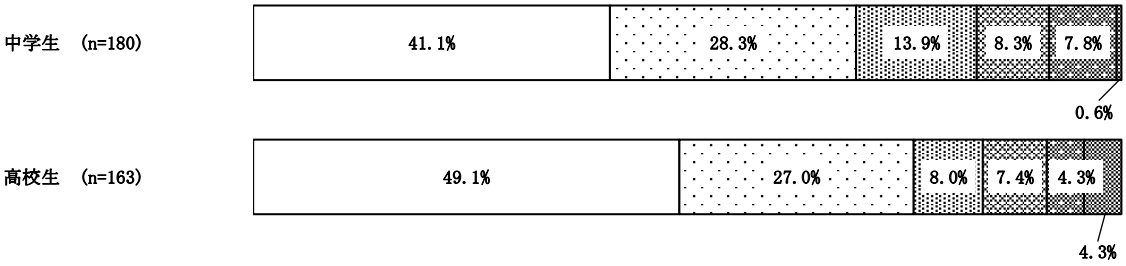
◎その他のご意見（例）

・親がボランティアしてるから時々自分もお弁当もらうし、ボランティアの人とも挨拶する。（女性　高校生　日野市）

・存在を知らなかった（男性　高校生　板橋区）

・運営側（ボランティア）として参加している（女性　高校生　昭島市）

■学年別

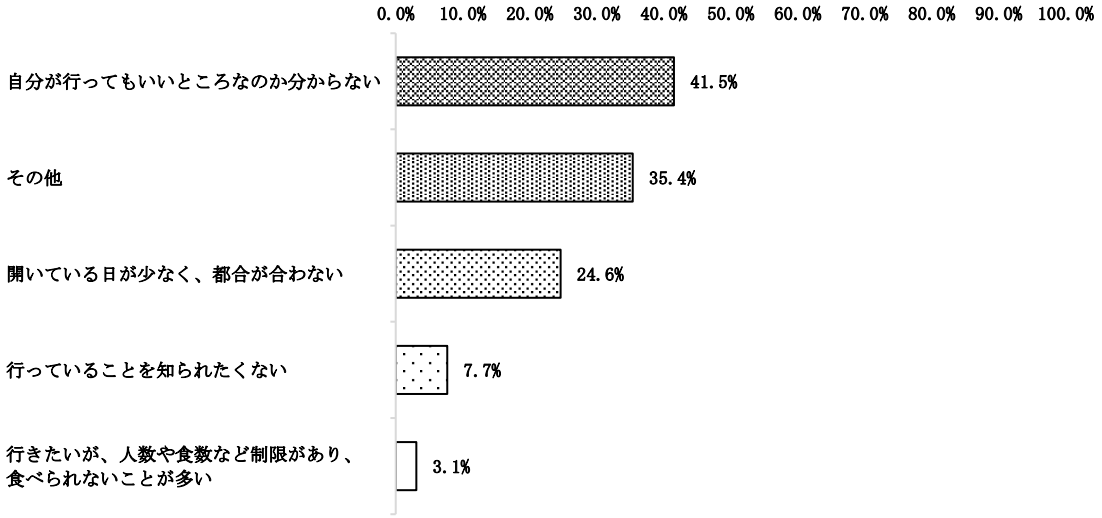


どこにあるか知らなかったので、行ったことはない
家や学校の近くにこども食堂はない
どこにあるか知っていたが、行ったことはない
行ったことはあるが、現在は行っていない
普段から行っている
その他

現在行っていない理由

問５　問４で「行ったことはあるが、現在は行っていない」か、「どこにあるか知っていたが、行ったことはない」と答えた方にお聞きします。現在行っていない理由を教えてください。
当てはまるものをいくつでも選んでください。

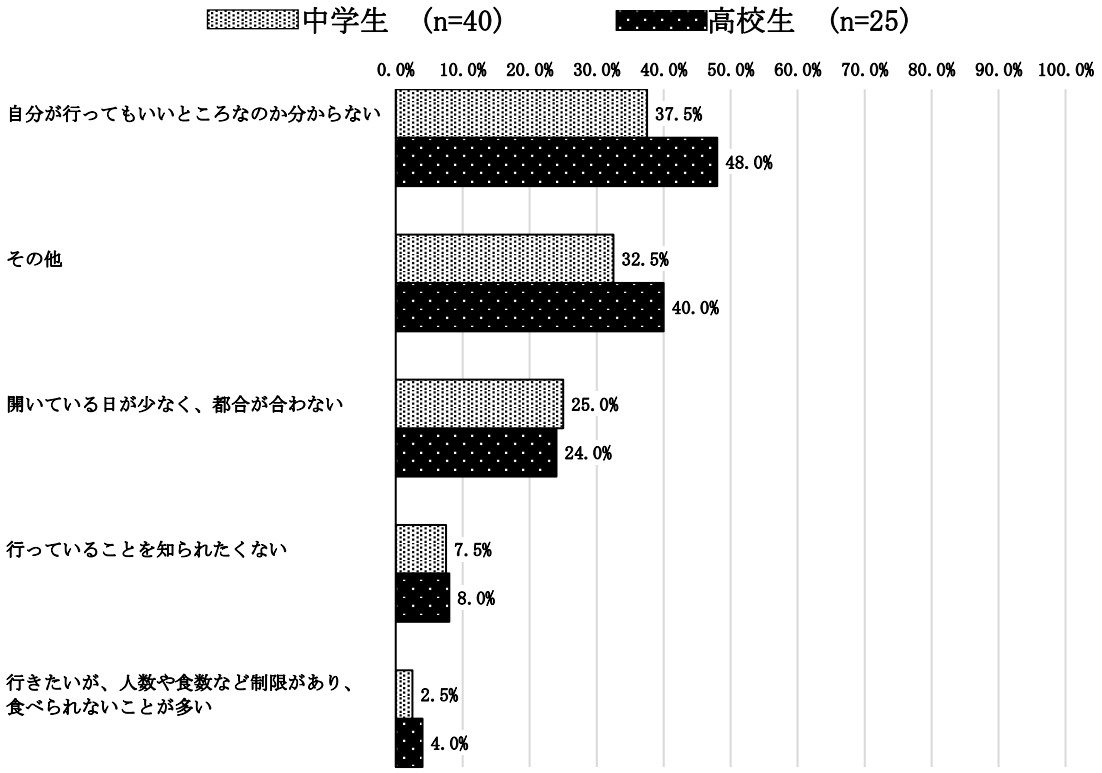
MA（n=65）



【調査結果の概要】
「自分が行ってもいいところなのか分からない」（41.5%）が最も高く、以下、「その他」（35.4%）、「開いている日が少なく、都合が合わない」（24.6%）などと続いている。

◎その他のご意見（例）
・知らない人達とご飯を食べることに抵抗があるから。（女性　中学生　文京区）
・少し遠く、行きづらい（男性　中学生　青梅市）
・食事に問題を抱えてないから。（女性　高校生　江戸川区）

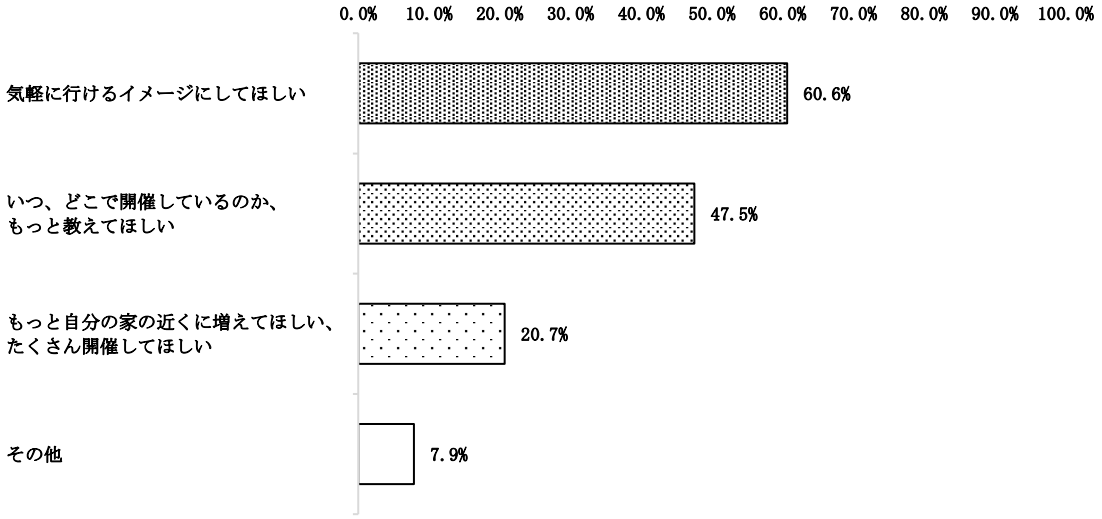
■学年別


中学生　(n=40)
高校生　(n=25)
0.0%
10.0%
20.0%
30.0%
40.0%
50.0%
60.0%
70.0%
80.0%
90.0%
100.0%
自分が行ってもいいところなのか分からない
37.5%
48.0%
その他
32.5%
40.0%
開いている日が少なく、都合が合わない
25.0%
24.0%
行っていることを知られたくない
7.5%
8.0%
行きたいが、人数や食数など制限があり、食べられないことが多い
2.5%
4.0%

こども食堂について感じること

問６　こども食堂について感じることがあれば教えてください。
　　当てはまるものをいくつでも選んでください。

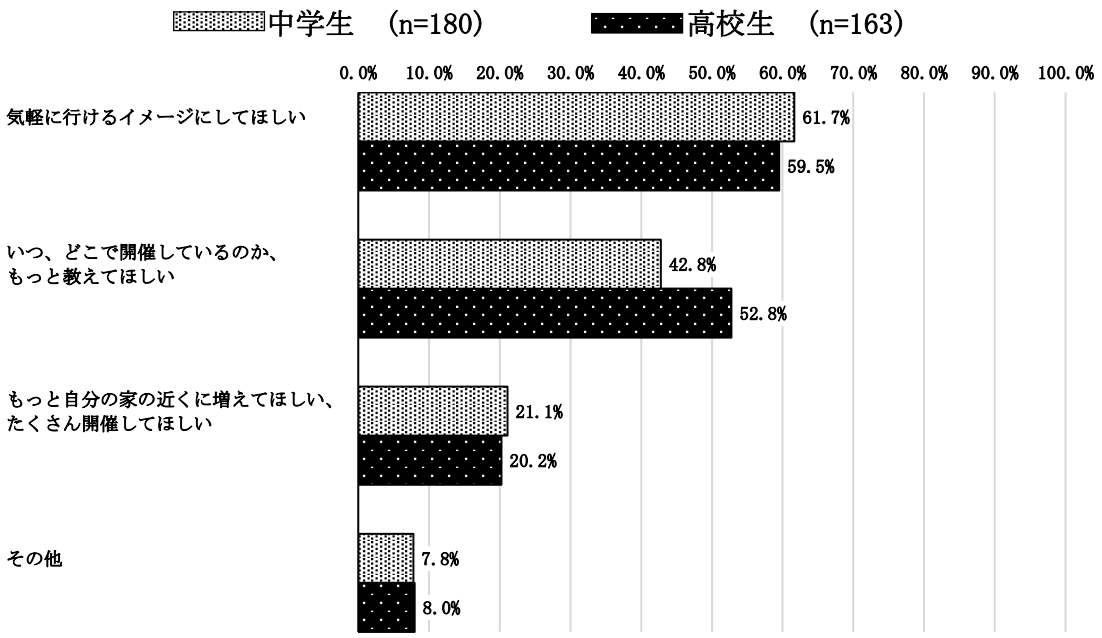
MA（n=343）



【調査結果の概要】
「気軽に行けるイメージにしてほしい」（60.6%）が最も高く、以下、「いつ、どこで開催しているのか、もっと教えてほしい」（47.5%）、「もっと自分の家の近くに増えてほしい、たくさん開催してほしい」（20.7%）などと続いている。

◎その他のご意見（例）
・こども食堂はご飯を食べるお金のない人が行く場所という認識があり、自分が行っていいのか分からない（女性　高校生　東久留米市）
・利用したい人がカフェ感覚で行きやすいといいと思う。（男性　高校生　渋谷区）
・何を行っているのかもっと詳しくしりたい。（男性　中学生　武蔵村山市）

■学年別


中学生　(n=180)
高校生　(n=163)
0.0%
10.0%
20.0%
30.0%
40.0%
50.0%
60.0%
70.0%
80.0%
90.0%
100.0%
気軽に行けるイメージにしてほしい
61.7%
59.5%
いつ、どこで開催しているのか、もっと教えてほしい
42.8%
52.8%
もっと自分の家の近くに増えてほしい、たくさん開催してほしい
21.1%
20.2%
その他
7.8%
8.0%

中高生による政策提案について（対象：中高生）

調 査 項 目

問１　　中高生が議論し、政策提案するテーマとして一番良いと思うこと

みなさんは「東京都こども基本条例」を知っていますか？
この条例では、子供を権利の主体として尊重し、「子供の最善の利益」を最優先にするという基本理念を明確化しています。
「子供の最善の利益」の観点に立って子供政策を推進していくためには、子供の実情に寄り添いながら、多様な意見を的確に把握することが重要です。
そのため、東京都では「こども都庁モニター」をはじめ、様々な方法で子供の意見を聴く取組を進めてきました。

現在、この取組をさらに加速させるため、新たな企画を考えています。
企画の内容は「子供を対象とする施策について、当事者である中高生に議論してもらい、施策をより良くするための提案をしてもらおう」というものです。

今回は、この企画で議論するテーマについて、みなさんの意見を聴かせてください。

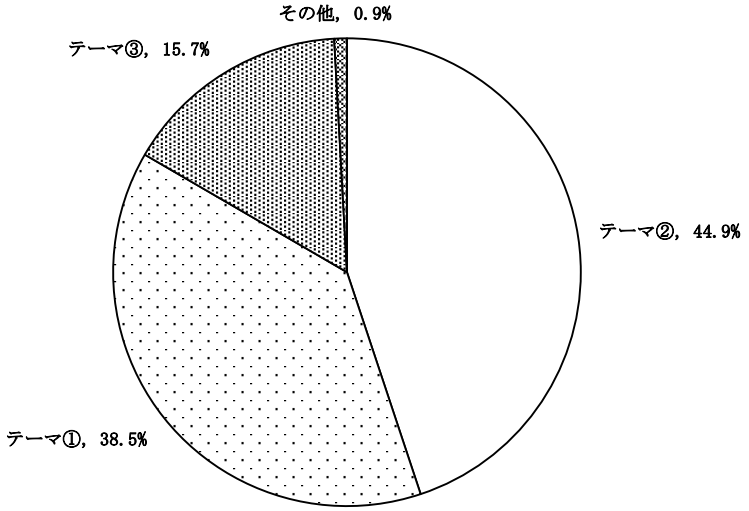
※これまで東京都に寄せられた様々な意見を踏まえ、中高生の関心が高いと思われるテーマを３つ用意しました。

（参考）東京都こども基本条例ハンドブック（中高生向け）：
https://www.sp.metro.tokyo.lg.jp/kodomoseisaku/book/jourei-handbook-chuko-j/original.pdf

中高生が議論し、政策提案するテーマとして一番良いと思うこと

問１　中高生が議論し、政策提案するテーマとして、どれが一番良いと思いますか？
　　どれか一つ選択してください。

(n=343)

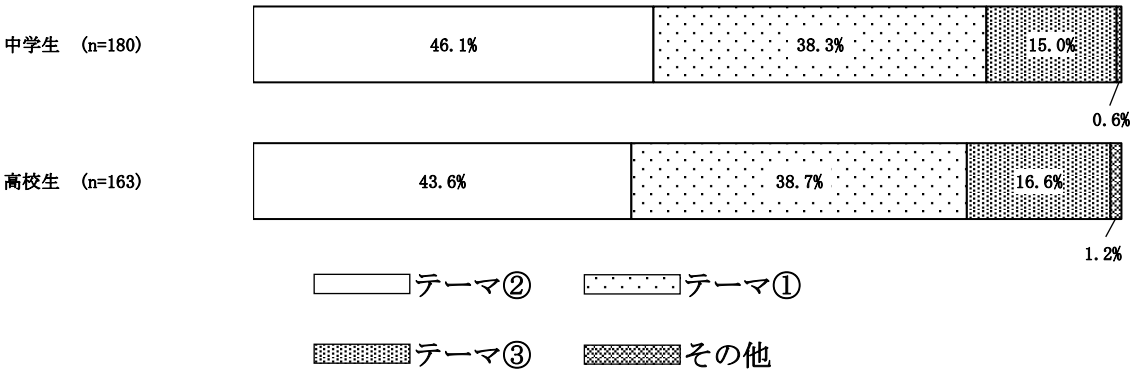


	テーマの内容
テーマ①	**『地域における中高生の居場所づくり』** ○気の合う仲間と一緒に過ごせる。新しい友達と出会える。自分の好きなことに打ち込める。そんな「居場所」は、みなさんが健やかに成長していく上で大切なものです。 ○地域には、図書館や児童館、公園、プレーパークなど、子供の居場所になる場所がつくられています。 ○しかし、中高生からは「児童館は小学生ばかり。公園も集まりにくい」「図書館の席は争奪戦」「カラオケやファミレスはお金がかかる」といった意見が寄せられています。 ○そこで、中高生が気軽に立ち寄りたくなる居場所として、どのような場所があればいいか議論・提案してもらいます！
テーマ②	**『将来のためになるリアルな体験活動の充実』** ○子供が自分の将来像を描き、社会の中で生きる力を育むためには、様々な人と接し、多様な体験をすることで、自分の興味関心や価値観を広げていくことが大切です。 ○しかし、デジタル化、核家族化、都市化などの進行により、日常生活の中でのリアルな体験機会が減っています。 ○東京都が実施した中高生向けのアンケートでは、「学校のテストばかりでなく、人生の為になるような体験をしたい」「興味のあることを学んで、将来に活かしたい」といった声が挙がっています。 ○そこで、中高生の将来のためにどのような体験活動があればいいか、議論・提案してもらいます！
テーマ③	**『中高生に伝わる広報 ～気軽に悩みを相談できるきっかけづくり～』** ○東京都では、みなさんの不安や悩みが誰にも相談できず深刻にならないように、新たに「子供・子育てメンター“ギュッとチャット”事業」を始める予定です。 ○この事業では、日頃のささいな不安や悩みについて、チャットを活用して気軽に相談ができることに加え、年齢の近い身近な相談相手や心理士等の専門家などから選んで、同じ相手に継続して相談できるので、信頼関係を築きながら安心して相談することができます。 ○多くの中高生に利用してもらいたいと考えていますが、そのためにはまずこの事業についてよく知ってもらう必要があります。 ○そこで、この事業について中高生にきちんと情報が届き、興味・関心を持ってもらうためには、どのような広報が効果的か、議論・提案してもらいます！

【調査結果の概要】

「テーマ②」（44.9%）が最も高く、以下、「テーマ①」（38.5%）、「テーマ③」（15.7%）などと続いている。

■学年別



自 由 意 見

今回のアンケートテーマ（子供一人ひとりの興味関心に応じた、芸術文化体験・イベントについて、子供の日常生活での事故について、ヤングケアラーについて、東京の道路整備について、中高生の放課後や休日の居場所について、中高生による政策提案について）について、ほかにもご意見がある場合は、自由に書いてください。

（１）芸術文化体験・イベントに関するご意見	49 件
（２）子供の日常生活での事故に関するご意見	４件
（３）ヤングケアラーに関するご意見	78 件
（４）東京の道路整備に関するご意見	138 件
（５）中高生の放課後や休日の居場所に関するご意見	20 件
（６）中高生による政策提案に関するご意見	17 件
（７）複数テーマに関するご意見	46 件

（ご意見）

（１）芸術文化体験・イベントに関するご意見

○ バレエやミュージカルなど、興味があるようなので習い事をさせたいが、実際始めるまでの初期費用の問題や家の近所に施設が無かったりと条件が合わず諦めている習い事がある。（女性　０歳～２歳保護者　荒川区）

○ 1.芸術文化体験について
日々忙しく、なかなかしょっちゅうは行けませんが、子どもを演奏会に連れていったことは何度かあります。自身も芸術に携わる人間なので、今後も子どもにも色々な体験をさせてあげたい気持ちがあります。気軽に参加できるようなイベントを実施してもらえたら嬉しいです。（男性　３歳～５歳保護者　府中市）

○ 芸術文化体験についての意見なのですが、いろいろな芸術文化体験があり、こんご、きかいがあれば、体験してみたいと思いました。あと､いろいろな芸術文化体験があった中で、一番オススメな芸術文化体験がしょうかいされていたり、写真で芸術文化体験がしょうかいされているホームページなどがあればうれしいなと思いました。そういうホームページなどがもともとあれば、せんでんなどでしょうかいしてほしいです。（女性　小学校低学年　江東区）

○ 芸術に触れる機会が少なく、よく知らないが故に興味がわかない可能性もあるのでもっと身近に感じられると興味もわくと思う。（男性　小学校高学年　台東区）

○ 芸術文化体験活動に関して、私は周りでそのようなことを行っているということを今まで知りませんでした。なので、いつどこでどのような体験活動が行われるのか等の情報をもっと発信して欲しいです。（女性　中学生　江戸川区）

○ 芸術文化に関わることができる機会を増やしてほしい（男性　高校生　日野市）

（２）子供の日常生活での事故に関するご意見

○ 子供の日常生活の事故について。6 歳、3 歳、1 歳の姉弟を育児中です。上の子はブロックやビーズなど細かいもので遊びたいのですが、末っ子の誤飲を恐れて、遊ばせないように隠しています。やりたいことを我慢させるのも可愛そうな気持ちもあり、どのような対応をしたら良いか悩んでいます。
（女性　３歳～５歳保護者　大田区）

○ 2 あまり学校では日常生活での事故は言われていないので、もっとアピールした方がいいと思いました。（男性　小学校高学年　荒川区）

○ 2. 日常生活の事故については市や保育所から資料をもらったり色々な所で話を聞くので参考になってます。第 2 子以降は上の子のおもちゃがあり、気をつけていても上の子が持ってきてしまうので防ぎきれない事があります。その時にどう対応していくのがいいのかアドバイスなどあるとありがたいです。
（女性　３歳～５歳保護者　青梅市）

○ ２の子どもの日常生活での事故は、警察や、救急隊員さんなどが、学校、地域にきて詳しく説明や防ぎ方　応急処置の仕方などを学習として体験させてほしい。
（男性　小学校高学年　日の出町）

（３）ヤングケアラーに関するご意見

○ ヤングケアラーという言葉をテレビで見かけるようになったのは最近のことだと思います。実体験の話を読むと自分の立場だったら、声を出し助けを求める手段はあったのだろうか、手を差しのべてくれる大人はいるのだろうか、など考えました。今は親の介護と子供の面倒を見る母親層が増えているのも事実だと思います。そのような中で働くということには様々な面で限界があります。少しでも皆が過ごしやすい環境になることを切に願います。（男性　０歳～２歳保護者　練馬区）

○ ヤングケアラーについて、もし会話の中でヤングケアラーが疑われる子どもがいたらどんな声がけをするのが良いのかも知りたいです。
最初はお手伝いをしっかりする子だと思って「偉いね！」と褒めた後でよくよく話を聞いたらヤングケアラーだったと気が付いたらことがありました。
褒めてしまうことが逆に本人の自覚を遅めてしまったりヘルプを出しにくくさせてしまうのではないかと感じました。
ぜひ具体的で適切な声かけを知りたいです。（女性　３歳～５歳保護者　足立区）

○ ヤングケアラーが分からないので、学校で習いたい
（男性　小学校低学年　板橋区）

○ ヤングケアラーについて、名前はしっていたけど、どういう意味かは知らなかったので、勉強になりました！ヤングケアラーのホームページで色々今の現状が分かった。（女性　小学校高学年　東大和市）

○ ヤングケアラーは、自分の同級生や後輩、先輩にも居るかもしれない身近な問題だと思うから、学校でももっと取り上げてほしい。また、ヤングケアラーについて知らない人も居ると思うから、より学べる環境が欲しい。
（女性　中学生　渋谷区）

○ ヤングケアラーについては僕私の場合の実際の事例が良く、とても考えさせられた。ヤングケアラーの苦悩や窮状を動画等で広められると良いと思った。
（男性　高校生　町田市）

（４）東京の道路整備に関するご意見

○ 東京都や区が、道路整備をしていることを知り、助かるなと思った。
（女性　小学校高学年　港区）

○ 道路がどんな人でも歩きやすいように整備されているところが最近多くなってきたのでいいと思った。（女性　中学生　大田区）

○ 都内は、車の交通量に加え、子どもを乗せた電動付き自転車の交通量が多いです。車道に自転車走行帯があっても、子どもを乗せてそこを通るのは、車との距離が近くとてもこわいです。そして、停車している車があるとさらに危ないです。したがって、歩道を走行しがちです。柵があり、歩道と車道からの距離に余裕がある、自転車走行帯がもっと必要だと感じます。
（女性　０歳～２歳保護者　江戸川区）

○ ４、歩道がない道も多く、特に子どもにとって危険な道が多いので引き続き安全面を強化して欲しいです（その他／回答しない　３歳～５歳保護者　杉並区）

○ 道路整備について
もっと電柱をなくす方向にして行ってもらいたい。歩行者も車も安全に移動できる道をもっと増やせたらいい。一方通行の道ももっとわかりやすくあるべき。
（女性　０歳～２歳保護者　世田谷区）

○ 僕が住んでいるところの近くでも整備された道路があって歩いたり自転車で通りやすくなりましたが、まだまだ狭くて人と車がぶつかりそうになったり、見通しが悪い道路もあるので、少しずつ整備を進めてもらえるとうれしいです。
（男性　小学校高学年　新宿区）

○ 僕は野球に行くのにいつも自転車で移動します。ブルーレーンを走るように言われているけど、路上駐車をしている車が多くて、思うようにブルーレーンを通れません。いい方法はないのかな？といつも思っています。
（男性　小学校高学年　江戸川区）

○ 道路に緑をもっとたくさん増やしてほしい。
そして事故があまりないようにさくもたくさん道路に着けてほしい。
（男性　小学校高学年　国立市）

○ 4、道路について、自転車と歩行者それぞれ専用の通行帯を設けることで事故の防止に繋がる他、景観も良くなっていると感じました。しかし、歩道がほとんど無い道を歩行者とバスがスレスレに通行している道があり、とても危険だと思うので、道幅を拡げたり、ガードレールを設置するなどの対策が必要だと感じました。
（男性　高校生　北区）

（５）中高生の放課後や休日の居場所に関するご意見

○ 子ども食堂や児童館などは特に中学生になってからは知る機会や触れる機会も少なくなってしまったので気軽に通えたり体験ができる場を増やして欲しいです
（女性　中学生　足立区）

○ こども食堂など知らないことが多く行きづらいことが多いため、インターネットなどを使ってもっと伝える場があったら良いと思った。また、児童館が学校や家以外に友達や話し相手が気軽に作れるような場所になったらいいなと思った。
（男性　中学生　武蔵村山市）

○ 子供食堂について
子供食堂をどこでやっているのか知る機会があまりないので、もっと知れる機会を増やせるようにインスタなどで情報を発信した方が良いと思う。
（男性　高校生　練馬区）

○ 小学生が行きやすい空間は多いが、中高生が過ごしやすい場所は少ないように感じる。お金がなくても、勉強ができるスペースをもう少し増やして欲しい。近くの図書館などは席数がとても少なく、すぐに埋まってしまうので、学生スペースを色んなところに作って欲しい。（女性　高校生　世田谷区）

（６）中高生による政策提案に関するご意見

○ 中高生による政策提案についてですが、私も自分の住む地域のそのようなイベントに参やつする機会があるのですが、実際に採用されることが少ないので、そういったことがないとうれしいです。（女性　中学生　瑞穂町）

○ 6、中高生による政策提案について
学校で進路について調べろ、考えろと言われる割に実際に体験したり触れる機会はなかなかないため、そういう機会を自治体単位で用意することで、進路を前向きに考えるきっかけを作れるのではないかと思いました。（女性　高校生　世田谷区）

○ 実際に現地に集まって東京都に政策提言できる場があると良いと思った
（男性　高校生　荒川区）

（７）複数テーマに関するご意見

○ 日常生活の事故は、どんなに対策していても自分達の意思ではないところで事故に巻き込まれる可能性もあると感じています。だからこそ、更なる道路整備が必要なのではないかと、今回のアンケートで感じました。
ヤングケアラーの対象者は、機関に相談する時間も中々ないのでは？と思いました。自治体でヤングケアラー対象者を割り出す方法や、実際に自治体からどんな援助を受けられるのかなど、明確にすることも大切なのではないかと感じます。
（女性　０歳～２歳保護者　杉並区）

○ １について、都や区等の自治体が行なっている鑑賞会や体験等があるならば、積極的に参加したい。4について、小さな子供は工事現場が大好き。ただ、本当の現場で見学すると危ないので、ぜひ都の方で工事や街づくり、働く車や働く人にフォーカスした体験施設や体験イベントを、実施してほしい。
（男性　３歳～５歳保護者　練馬区）

○ ヤングケアラーのホームページは、文や漢字が難しくて読めないので、ふりがながあるといいと思う。あとは、動画は良かったけれど、実際にアニメ（普通に会話する）や人が出てきてドラマみたいになってるいるともっとよく分かると思いました。道路整備は、子どもだけで安全に歩いたり自転車に乗ったりできるように、歩道と車道が分かれている道が増えるといいと思います。自転車が通る道も整備してほしいです。（女性　小学校低学年　葛飾区）

○ １の文化芸術体験は、各地域や、学校、イベントなどで、体験させてほしい。２の子どもの日常生活での事故は、警察や、救急隊員さんなどが、学校、地域にきて詳しく説明や防ぎ方　応急処置の仕方などを学習として体験させてほしい。3ヤングケアラーは、ヤングケアラーの方のお話しなどを聞いて、知る機会を作ってほしい。
４の東京の道路整備は、歩道の安全確保として歩行者と自転車の分けるなど安全性に気をつけ、どこにもまけない日本の首都東京にしたい。その他、このアンケートの内容や東京都の問題、見どころを、体験出来るツアーなどを、作って欲しい。
（男性　小学校高学年　日の出町）

○ 3. ヤングケアラーについて

ヤングケアラーやそうかもしれない人に、周りがどのような受け止め方やサポートしたらいいのか知りたい。

6. 中高生による政策提案について

「②将来のためになるリアルな体験活動の充実」を選んだ。大人たちがテーマを設定してプロを呼んで、その中で「どうぞ選んでください」と、与えられたものだけ摂取するみたいな授業は面白くないと思う。2 人ずつとかの小規模なグループでクラスに向けて授業を企画・実行してみたい。受け身になってしまった分の主体性や面白い学びを取り戻したい。（女性　中学生　狛江市）

○「ヤングケアラーについて」の「私の場合、僕の場合」の例をもっとたくさん載せたら、わかりやすいんじゃないかと思いました。お友達が気付くケースもあると思います。

東京は自転車の交通量が多いので、自転車道の整備は積極的に進めて欲しいです。

（女性　３歳～５歳保護者　三鷹市）